



三菱 HEMS

形 名 HM-GW03 HM-ST03-E HM-ST03-W

据付工事説明書 **詳細編** 販売店・工事店様用

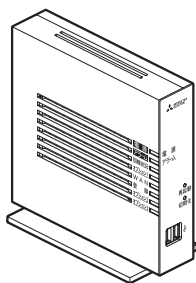
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

この据付工事説明書は、据付工事に関わるシステムの設定について記載しております。システムの設定をする前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。

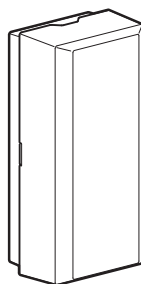
この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また当社指定部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

<HM-ST03-E HM-ST03-W セット構成>



情報収集ユニット
(HM-GW03)



エネルギー計測ユニット
(HM-EM03-E)
(HM-EM03-W)

※情報収集ユニット単体、またはエネルギー計測ユニットの代わりとして計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）との構成でも使用できます。

● 据付工事説明書は予告なしで変更する場合があります。
最新の据付工事説明書については、下記のホームページをご覧ください。
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

もくじ

概要

システム概要図	4
HEMSシステム結線図1：分電盤とエネルギー計測ユニット	6
HEMSシステム結線図2：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）	8
HEMSシステム結線図3：分電盤とエネルギー計測ユニットとEV用パワーコンディショナ	10
HEMSシステム結線図4：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）と太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	12
HEMSシステム結線図5：分電盤とエネルギー計測ユニットと太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	14
据付工事 全体の流れ	16

準備

システムの設定を行う前の準備	17
タブレット端末と情報収集ユニットの接続	22
パソコンと情報収集ユニットの接続	24

設置/接続

機器の設置方法／機器の接続方法	25
-----------------------	----

ログイン

ログインする	26
--------------	----

コントローラー設定

時刻設定	28
システム設定	30

機器設定

機器接続登録	32
機器接続確認	38
エネルギー計測機器の設定	41

詳細設定

機器オプション設定	56
簡易間取り設定	58
空気循環連動設定	61
スマートメーター設定	63
ハイブリッド蓄電システム設定	66
グラフ表示設定	68
エネマネ設定	70

引渡確認

クラウド接続確認	72
リセット設定	73
チェックリスト	74
据付後の確認	76

対処

こんなときは	77
--------------	----

付録

パソコン接続設定	81
仕様.....	96

修理ツール

ログイン.....	97
不具合機器一覧	98
エラー表示.....	104
ログ表示 動作ログ	106
機器交換・削除・位置確認.....	107
ログイン情報の初期化	111

概要

準備

設置／
接続

ログイン

コントローラ
設定

機器
設定

詳細
設定

引渡
確認

対処

付録

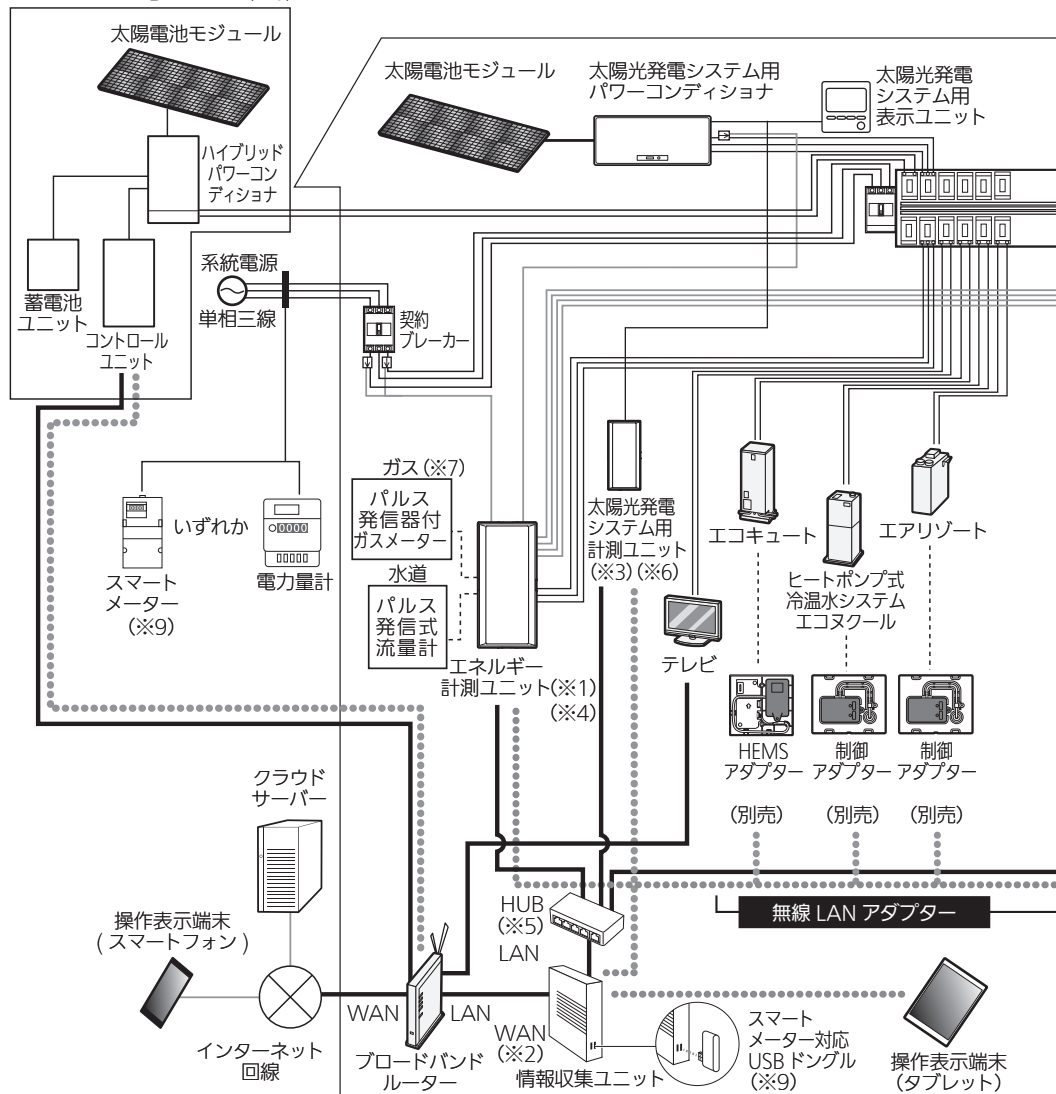
修理
ツール

概要

システム概要図

■ 構成例

ハイブリッド蓄電システム (※8)



※1: 有線LAN対応機種(HM-EM03-E)と無線LAN対応機種(HM-EM03-W)があります。

情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。

※2: 情報収集ユニットとブロードバンドルーターを接続するときは、情報収集ユニットのWANポートとブロードバンドルーターのLANポートをLANケーブルで接続してください。

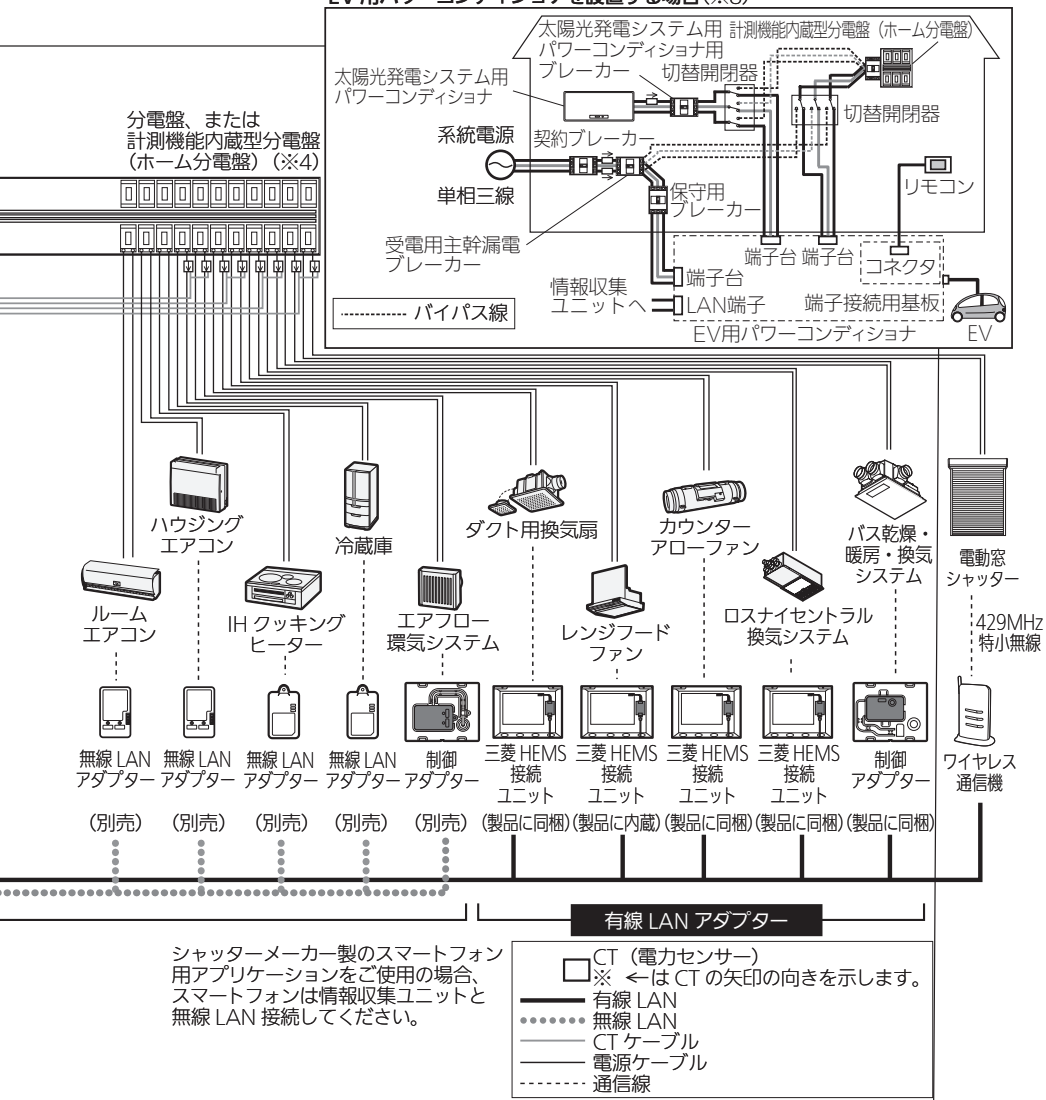
※3: 太陽光発電システム用計測ユニットは有線接続用と無線接続用の2種類があります。

情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。

※4: 計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)使用時は、エネルギー計測ユニットは併設できません。

※5: 有線LANの接続が、情報収集ユニットの有線LANの口数(4口)で足りる場合は、HUBは不要です。

EV用パワーコンディショナを設置する場合(※8)



※6：本構成は、PV-DR006Lシリーズを使用した場合の構成です。

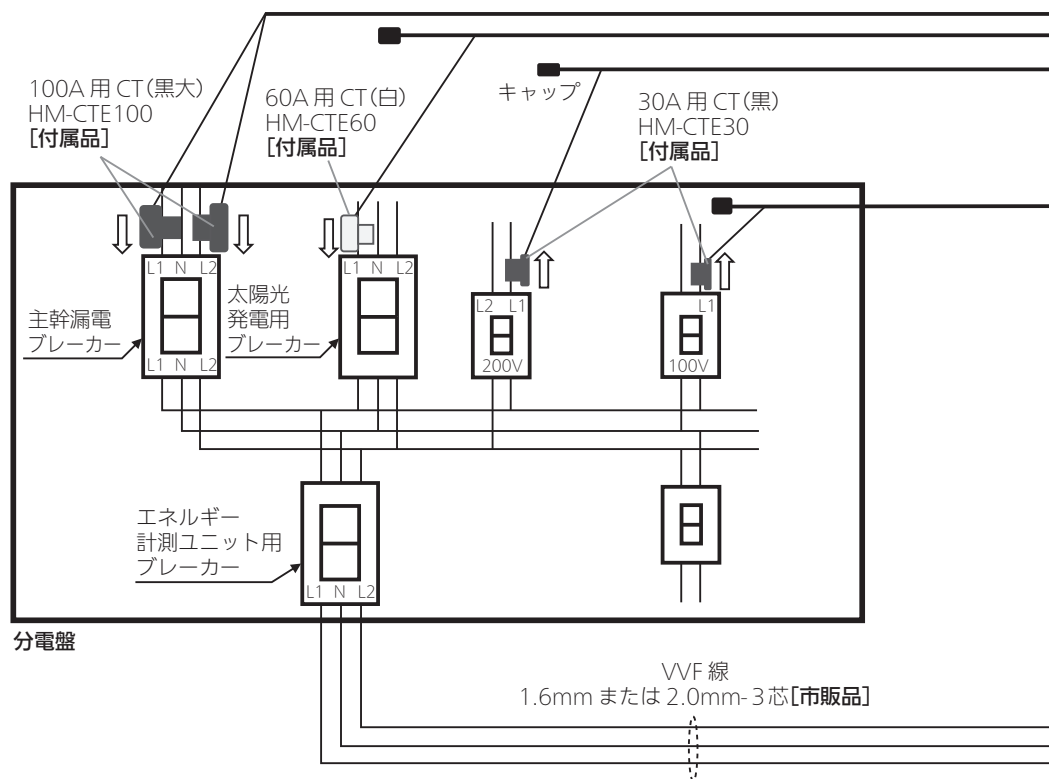
それ以外の構成については、太陽光発電の計測には、CTでの計測となります。

※7：別途メーターの設置(有償)が必要となる場合があります。

※8：EV用パワーコンディショナとハイブリッド蓄電システムは併設できません。

※9：スマートメーターをHEMSに接続するには、スマートメーター対応USB dongle (形名：HM-DG01-S、別売)が必要です。

HEMSシステム結線図1：分電盤とエネルギー計測ユニット



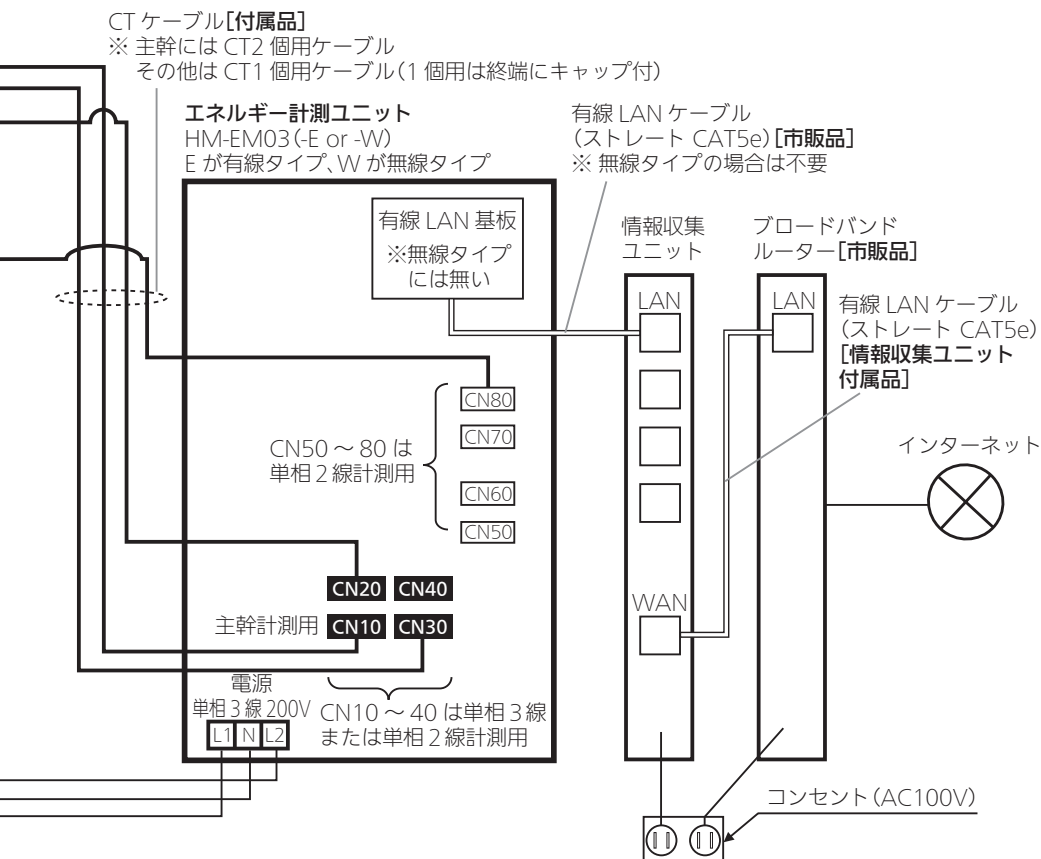
■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A用 CT(黒大) × 2 個
- ② 60A用 CT(白) × 1 個
- ③ 30A用 CT(黒) × 2 個
- ④ CT ケーブル(CT2 個用) × 1 本
- ⑤ CT ケーブル(CT1 個用) × 3 本

※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。
最大 14 箇所まで計測できます。

■主な注意事項

- ① CT の取付け方向にご注意ください。
↑の方向に取付け(CT にシール貼付しています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ～ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ～ 80 は負荷計測用。
(なお、CN20 ～ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



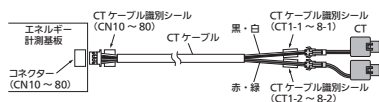
- ③ エネルギー計測基板のコネクター表示と CT ケーブル識別シールを合わせて接続してください。
CT ケーブルと CT を接続してください。
※ CN10、30、50、70 用の CT ケーブルは製品に同梱されています。

<参考>CT ケーブル No.

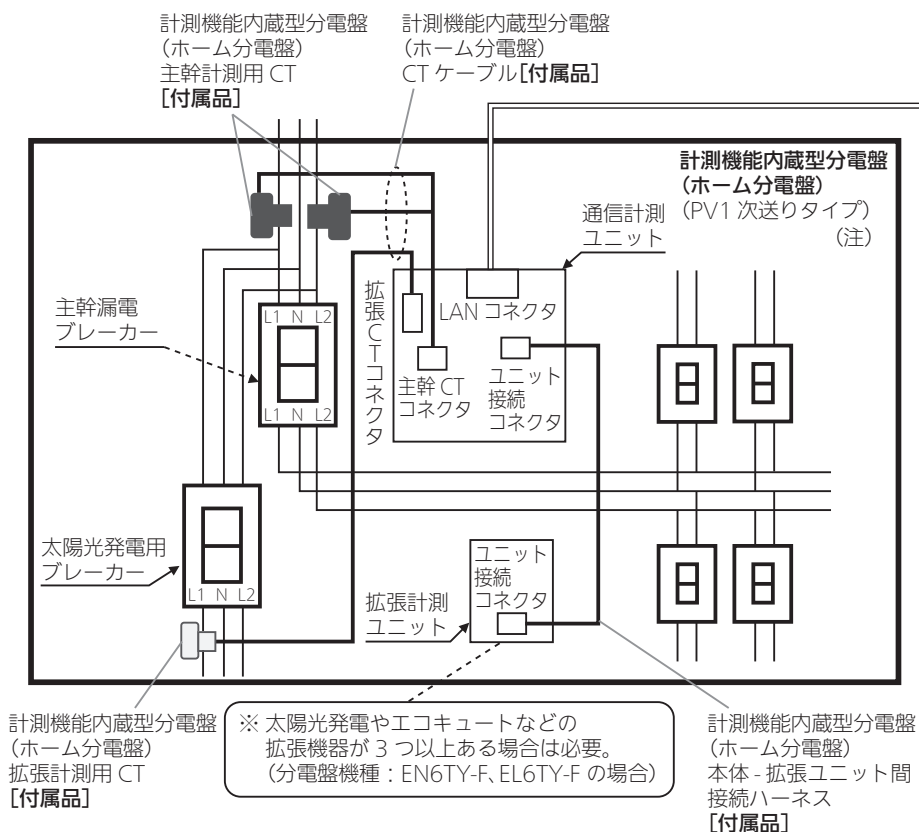
コネクター No	CT ケーブル色 (黒・白)	
	CT ケーブル色 (赤・緑)	

CN10	CT1-1 CT1-2	CN20	CT2-1 CT2-2	CN30	CT3-1 CT3-2	CN40	CT4-1 CT4-2	CN50	CT5-1 CT5-2	CN60	CT6-1 CT6-2	CN70	CT7-1 CT7-2	CN80	CT8-1 CT8-2
------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------

※ 設置ツールにて CT の初期設定を実施するときに情報が必要となるため。



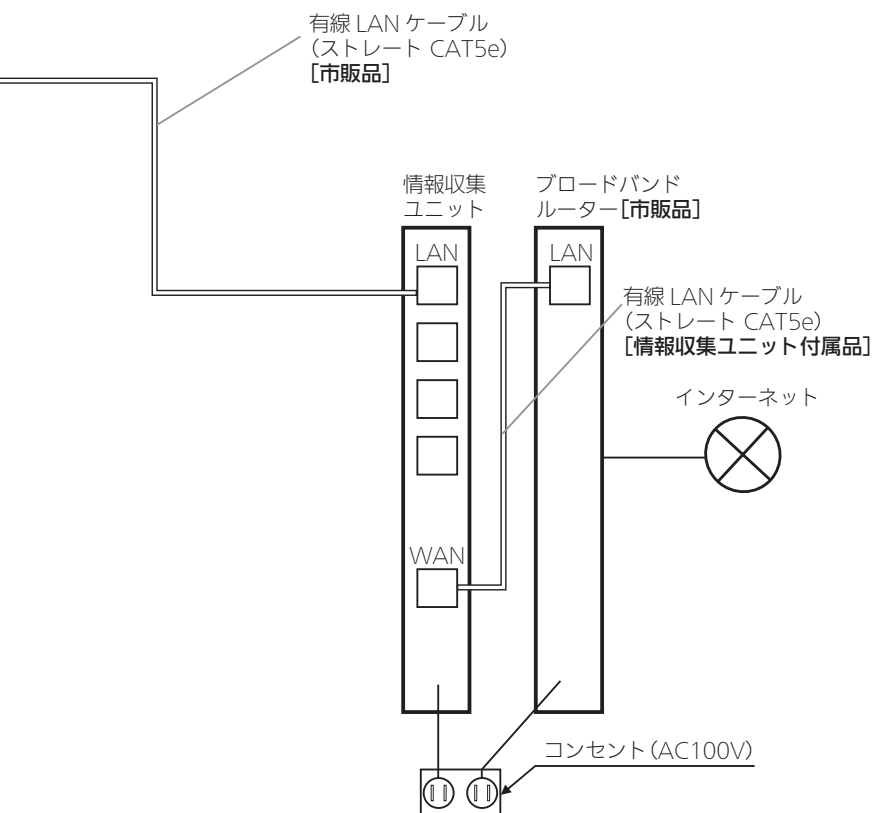
HEMSシステム結線図2：計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)



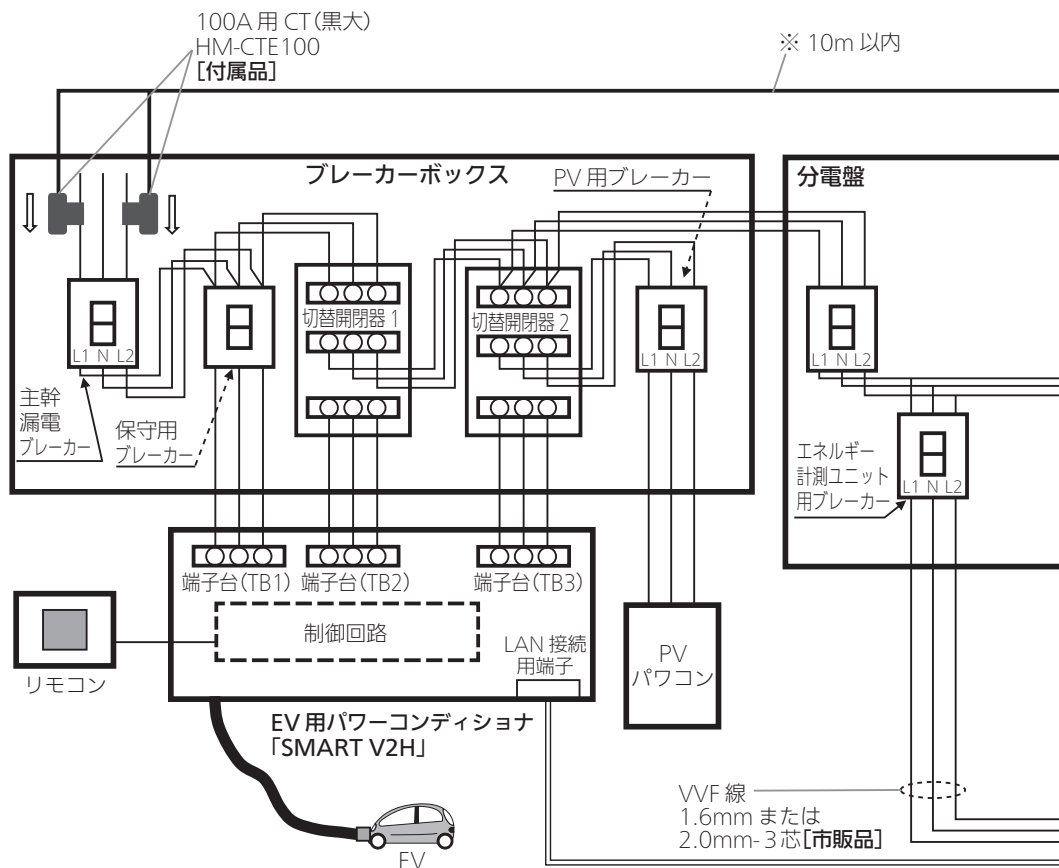
■主な注意事項

- ① CT の取付け方向にご注意ください。
(詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照ください。)

(注) ホーム分電盤のタイプ(種類)です。詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照してください。



HEMSシステム結線図3：分電盤とエネルギー計測ユニットとEV用パワーコンディショナ



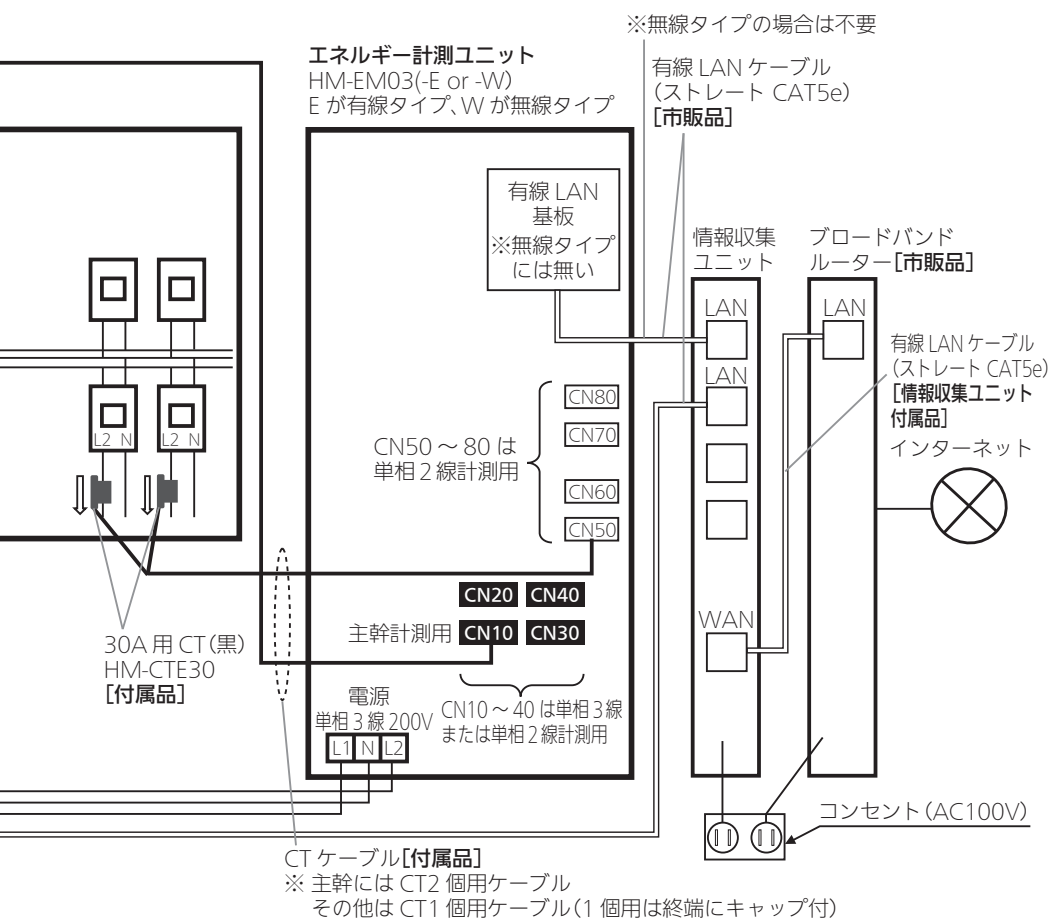
■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A 用 CT (黒大) × 2 個
- ② 30A 用 CT (黒) × 2 個
- ③ CT ケーブル (CT2 個用) × 1 本
- ④ CT ケーブル (CT1 個用) × 3 本

※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。
最大 14 箇所まで計測できます。

■主な注意事項

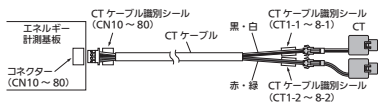
- ① CT の取付け方向にご注意ください。
↑の方向に取付け (CT にシール貼りしています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ~ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ~ 80 は負荷計測用。
(なお、CN20 ~ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



- ③ エネルギー計測基板のコネクター表示と CT ケーブル識別シールを合わせて接続してください。
CT ケーブルと CT を接続してください。
※CN10、30、50、70 用の CT ケーブルは製品に同梱されています。

＜参考＞CT ケーブル No.

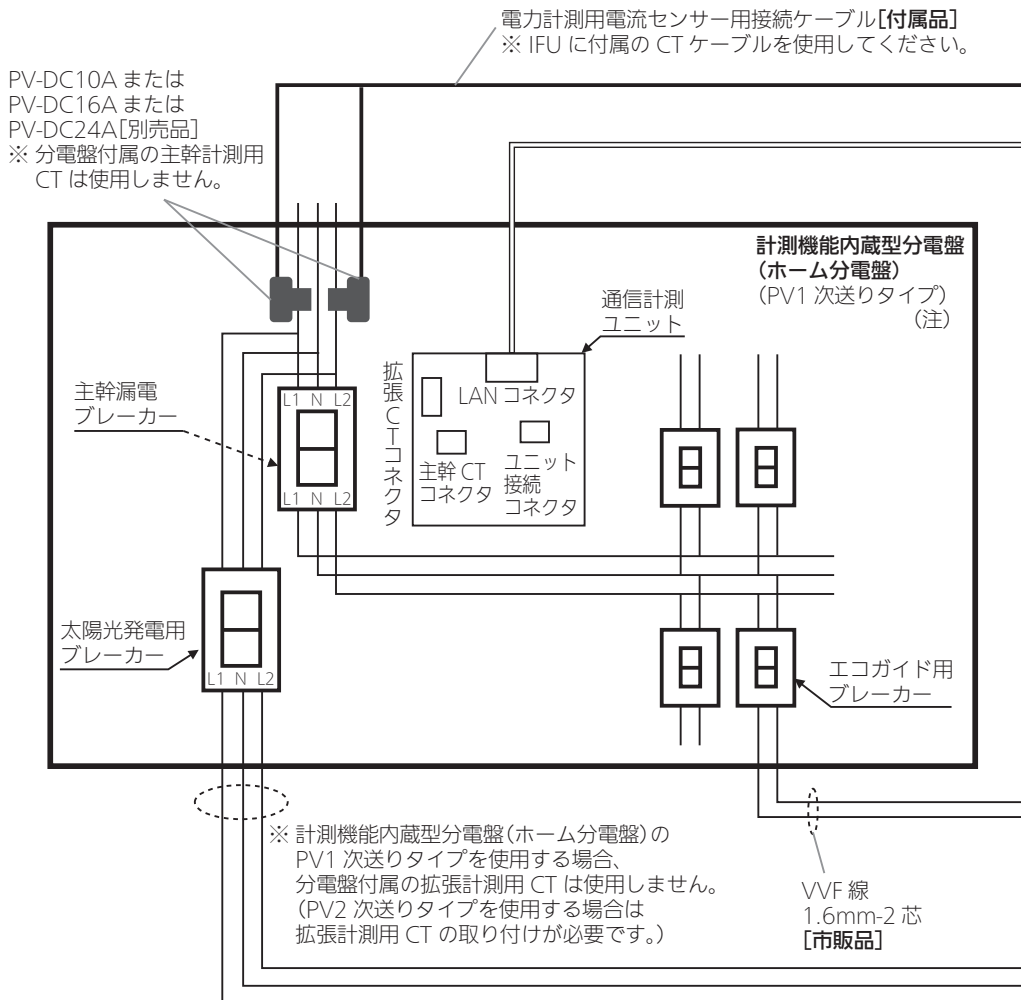
コネクタ No	CT ケーブル色(黒・白)
	CT ケーブル色(赤・緑)



CN10	CT1-1	CN20	CT2-1	CN30	CT3-1	CN40	CT4-1	CN50	CT5-1	CN60	CT6-1	CN70	CT7-1	CN80	CT8-1
	CT1-2		CT2-2		CT3-2		CT4-2		CT5-2		CT6-2		CT7-2		CT8-2

※設置ツールにてCTの初期設定を実施するときに情報が必要となるため、

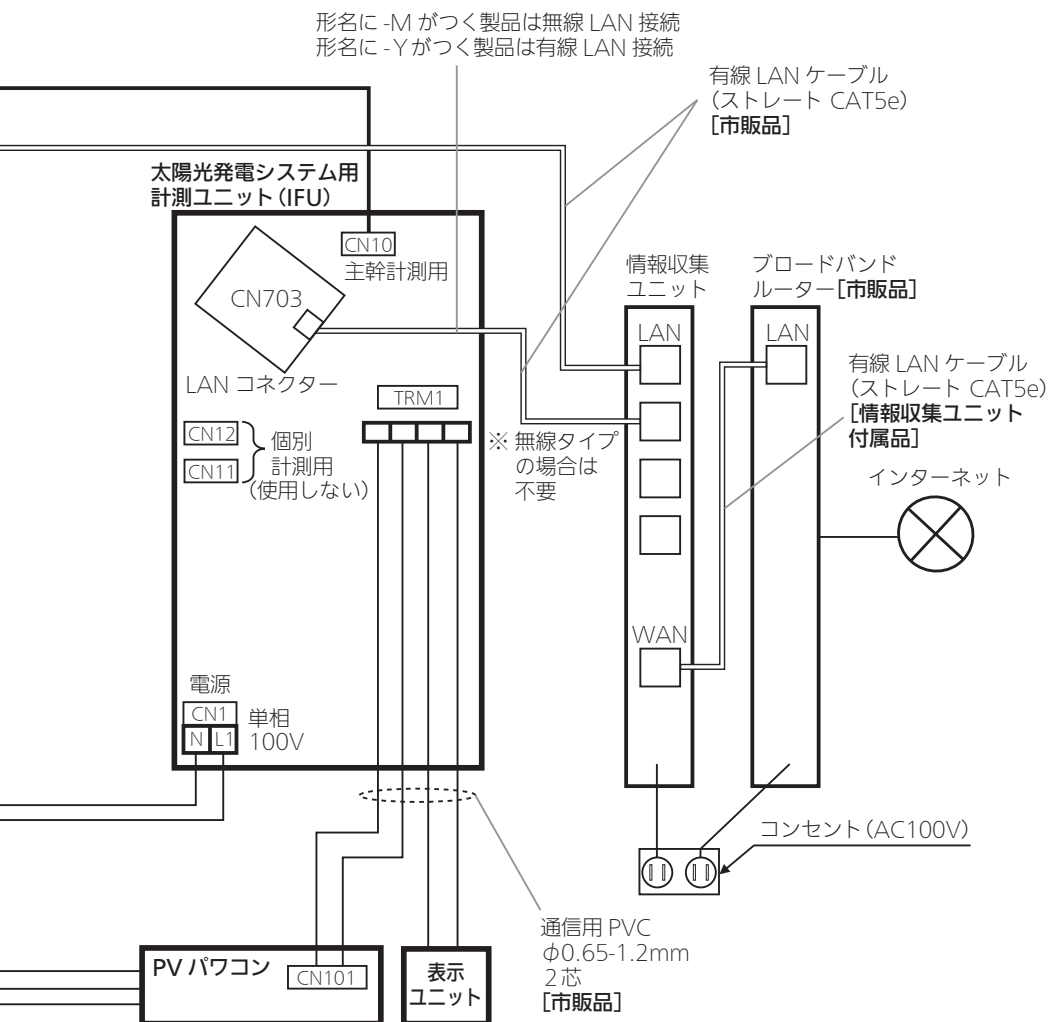
HEMSシステム結線図4: 計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)と太陽光発電システム用計測ユニット(IFU)



■主な注意事項

- ① 分電盤に付属の主幹計測用 CT は使用しません。
主幹漏電ブレーカーには計測ユニット(IFU)用の CT を取り付けてください。
- ② PV1 次送りタイプの分電盤を使用する場合は、分電盤付属の拡張計測用 CT は使用しません。
PV2 次送りタイプを使用する場合は、拡張計測用 CT の取り付けが必要です。

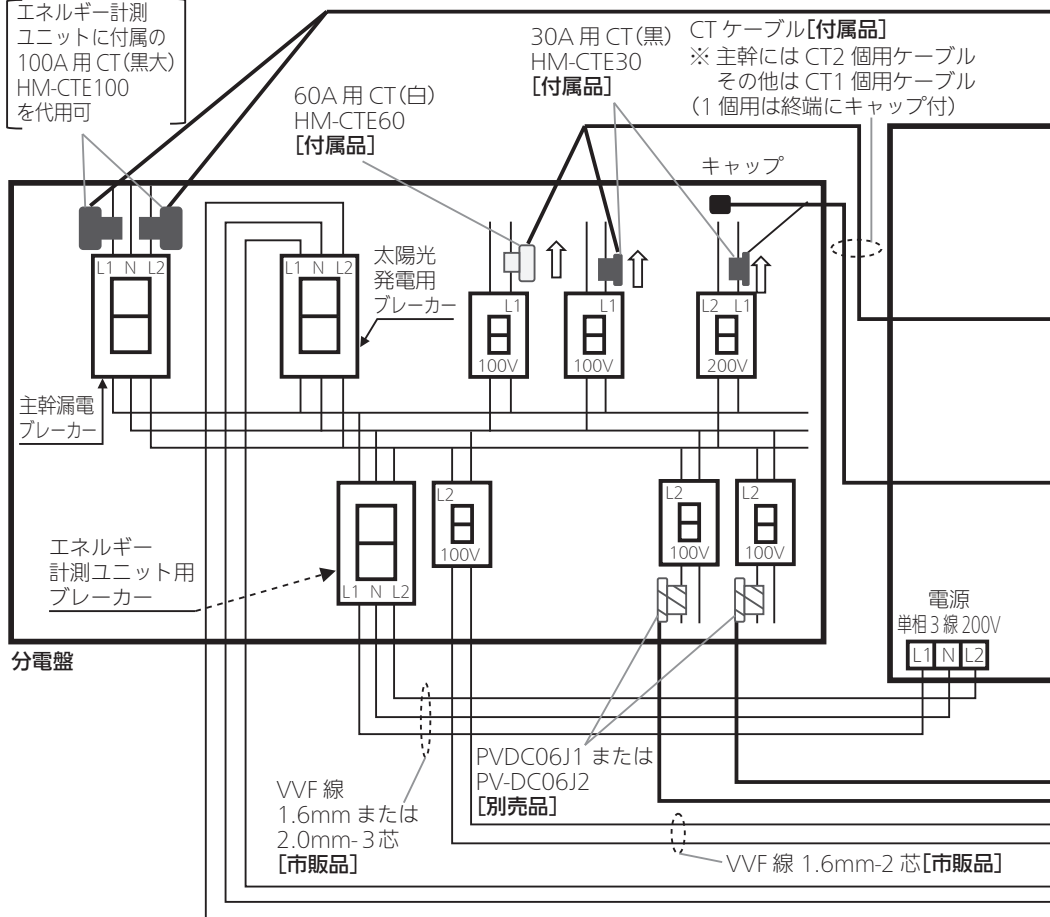
(注) ホーム分電盤のタイプ(種類)です。詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照してください。



HEMSシステム結線図5：分電盤とエネルギー計測ユニットと太陽光発電システム用計測ユニット(IFU)

PV-DC16A [別売品]

エネルギー計測
ユニットに付属の
100A用 CT(黒大)
HM-CTE100
を代用可



■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A用 CT(黒大) × 2 個
- ② 60A用 CT(白) × 1 個
- ③ 30A用 CT(黒) × 2 個
- ④ CT ケーブル(CT2 個用) × 1 本
- ⑤ CT ケーブル(CT1 個用) × 3 本

※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。

■主な注意事項

- ① エネルギー計測ユニットと接続する CT の取付け方向にご注意ください。
↑の方向に取付け (CT にシール貼りしています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ~ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ~ 80 は負荷計測用。
(なお、CN20 ~ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



据付工事 全体の流れ

準備	システムの設定を行う前の準備	(→17ページ)
	タブレット端末と情報収集ユニットの接続	(→22ページ)
	パソコンと情報収集ユニットの接続	(→24ページ)
↓		
設置/接続	機器の設置方法／機器の接続方法	(→25ページ)
↓		
ログイン	ログインする	(→26ページ)
↓		
コントローラ設定	時刻設定	(→28ページ)
	システム設定	(→30ページ)
↓		
機器設定	機器接続登録	(→32ページ)
	機器接続確認	(→38ページ)
	エネルギー計測機器の設定	(→41ページ)
↓		
詳細設定	機器オプション設定	(→56ページ)
	簡易間取り設定	(→58ページ)
	空気循環連動設定	(→61ページ)
	スマートメーター設定	(→63ページ)
	ハイブリッド蓄電システム設定	(→66ページ)
	グラフ表示設定	(→68ページ)
	エネマネ設定	(→70ページ)
↓		
引渡確認	クラウド接続確認	(→72ページ)
	リセット設定	(→73ページ)
	チェックリスト	(→74ページ)
	据付後の確認	(→76ページ)

システムの設定を行う前の準備

⚠ 警告

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書に記載されている「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、据付手順に従って据付けを行ってください。

- 電源電線の接続は確実に行う
接続部が過熱して発火する原因になります。
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って第二種電気工事士の資格者が安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

システムの設定を行う前に、以下の項目について確認してください。

□ システムの設定に必要なものがそろっていること

- ・ ブラウザーがインストールされているAndroidタブレット端末(OSバージョン 4.4.* 以上)またはWindowsパソコン
※スマートフォンやiOSタブレット(iPad)は設定作業に使用できません。
<推奨ブラウザ>
パソコン： Google Chrome、Internet Explorer 11
Android端末： Google Chrome
※タブレット端末によっては、画面が正常に表示されないことがあります。
- ・ ストレートタイプのLANケーブル(パソコン接続用)

- Android™、Google Chrome™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-FiおよびWPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

□ 各機器および有線LANアダプター/無線LANアダプター(HEMS用)が正しく据え付けられていること

※ 詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

■ LANケーブルで機器を接続し登録する場合

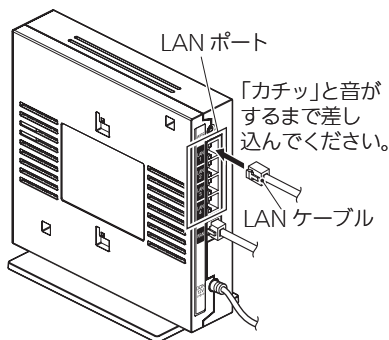
LANケーブルで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。

(→4～5ページ)

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ：5e以上)
- 情報収集ユニットおよび各機器の電源を入れてください。

1 情報収集ユニットのLANポートに LANケーブルを差し込む

- LANケーブルで接続する機器が4台以上ある場合は、HUBを使用してください。(IGMP非対応のHUBを使用してください)



情報収集ユニット

2 各機器にLANケーブルを接続する

<ランプ表示の一覧>

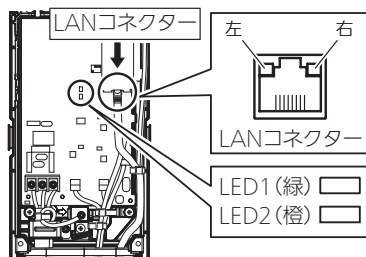
エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)と有線LAN基板のLANコネクターのランプ表示は、次のようになります。

【エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)のLANコネクター】

状態	左	右
LANケーブル非接続	消灯	消灯
LAN通信開始前	緑色に点灯	消灯
LAN通信時	緑色に点灯	橙色に点灯

【エネルギー計測ユニットのLED】

状態	LED1(緑)
有線LAN基盤通信時	正常時、約1秒ごとに点滅。



エネルギー計測ユニット

【弊社製各機器の有線LANアダプター(エネルギー計測ユニット以外)】

状態	D705	D704	D703
LAN通信開始前	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LANケーブル非接続	消灯	橙色に点灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LAN通信異常	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
機器異常	—	消灯	消灯
通常時	緑色に点滅(5秒に1回) ^{※1}	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※1：2回連続して点滅

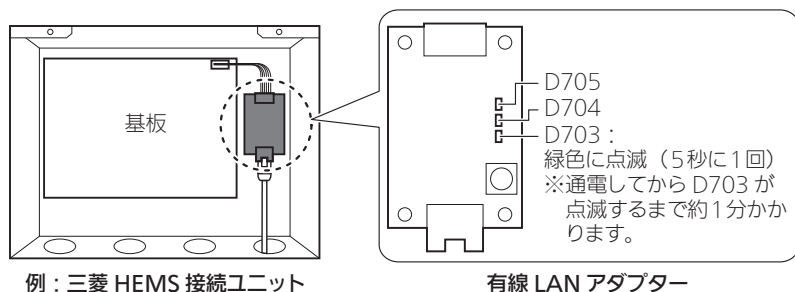
- 有線LANアダプターのランプ表示位置(➡20ページ)

おしらせ

- 情報収集ユニットのWANポートには接続しないでください。
- 情報収集ユニットのLANポートには、三菱HEMSの各機器以外は接続しないでください。接続した場合、三菱HEMSアプリおよびHEMS・各機器の動作に支障をきたすことがあります。
- テレビはブロードバンドルーターに接続してください。
- テレビと情報収集ユニットを接続するときは、テレビ背面の「LAN1端子」と情報収集ユニットに接続されたブロードバンドルーターのLANポートにLANケーブルを接続してください。
- テレビを接続するときは、以下のように設定してください。
 - ・テレビのメニュー「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」で「家電連携制御」を「入(操作あり)」または「入(操作なし)」にします。
 - ※設定すると、自動的に情報収集ユニットに接続してメニューが終了します。その後、「機能設定」メニューを表示すると、「家電連携設定」は「HEMS設定」という名称に切り替わります。
 - ・デジタル放送のアンテナを接続していないときは、テレビのメニュー「設定」→「初期設定」→「時刻設定」で現在時刻を設定します。一部の機種では設定できません。
- テレビで使用するIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにテレビで設定してください。
- 情報収集ユニットの電源が切れたときや再起動されたあと、有線LANアダプター接続機器がHUBなどを經由して接続されている場合は、通信が不安定になることがあります。情報収集ユニットを再起動したときは、情報収集ユニット再起動後にHUBなどの機器を再起動してください。
- 有線LANアダプターは、IGMP対応品とは接続できません。IGMP非対応のHUB・ルーターを使用してください。
- EV用パワーコンディショナ、電動窓シャッターを接続するときは、LANケーブルを接続後、情報収集ユニットを再起動してください。再起動しないと認識されません。
- 電動窓シャッターのワイヤレス通信機は有線LANで情報収集ユニットと接続してください。ワイヤレス通信機のWPSボタンは使用しないでください。
- ワイヤレス通信機に登録されている電動窓シャッターは、ワイヤレス通信機と情報収集ユニットを接続することで、自動的に機器登録されます。ワイヤレス通信機は情報収集ユニットと有線LANで接続し、接続後はワイヤレス通信機を再起動してください。(ワイヤレス通信機背面のスイッチが有線LANに設定されていることをご確認のうえで接続してください。)

準備 (つづき)

- 各機器の有線LANアダプターのランプが、以下のとおりに点滅していること
(エネルギー計測ユニットは除く)



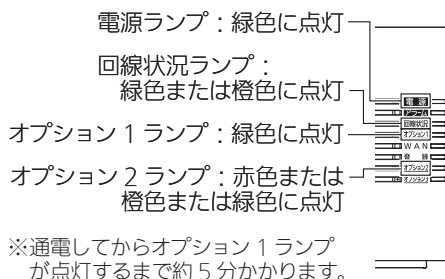
※ 詳しくは、＜ランプ表示の一覧＞(⇒18～19ページ)をご覧ください。

※ バス乾燥・暖房・換気システム用制御アダプターの場合は、カバーの窓からLEDの状態を確認できます。

※ 三菱HEMS接続ユニットの場合は、基板の上にカバーが付きます。

- 情報収集ユニットや各機器の無線LANアダプター(HEMS用)のランプが、以下のとおりに点灯または点滅していること

● 情報収集ユニット



※ 詳しくは、＜ランプ表示の一覧＞(⇒35ページ)や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※ 回線状況ランプが赤色に点灯する場合は、「こんなときは」をご覧ください。
(⇒77ページ)

※ 電源を入れたあと、ソフトウェアの自動更新が開始(オプション3ランプが青点滅し、アラームランプが赤点灯)される場合があります。ソフトウェアの自動更新が完了(オプション3ランプが青点灯し、アラームランプが消灯)するまで電源を切らないでください。

● 無線LANアダプター(HEMS用)

※機器によっては仕様が異なることがあります。



ランプ3：
緑色に点滅（5秒に1回）
※通電してからランプ3が点滅
するまで約3分かかります。
ランプ1、2、3が同時に点滅
しているときには、電源を切ら
ないでください。

※ 詳しくは、＜ランプ表示の一覧＞（→35ページ）や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※ IHクッキングヒーターを据え付けたときは、ランプ表示の確認方法が異なります。
詳しくは、IHクッキングヒーター用無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

作業中は、複数台のパソコン・タブレット端末から操作しないでください。
また、お客様にもアプリをご使用にならないようにご依頼ください。

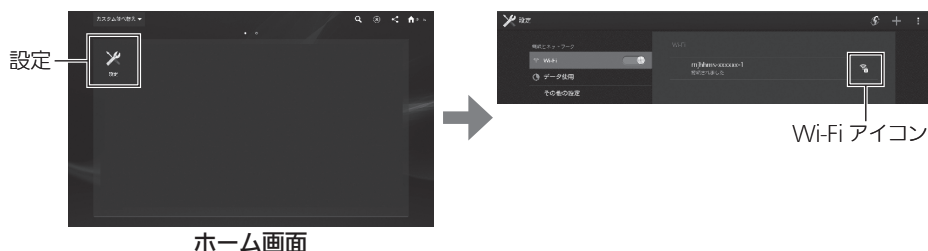
タブレット端末と情報収集ユニットの接続

タブレット端末(Android)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

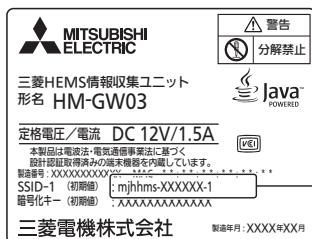
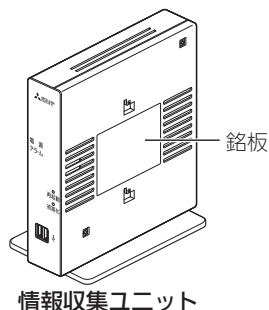
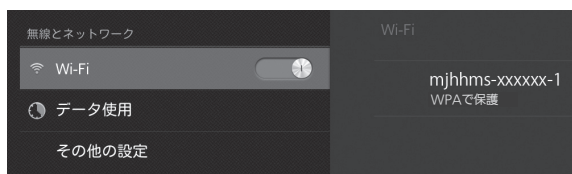
※タブレット端末により、表示が異なることがあります。

1 タブレット端末のホーム画面から「設定」>「Wi-Fi」を選択し、Wi-Fi欄を「ON」にする

- Wi-Fiアイコン(📶)がネットワーク名の右側に表示されていることを確認してください。



- タブレットのネットワーク接続一覧に情報収集ユニットの銘板に記載されているSSIDが表示されていることを確認してください。

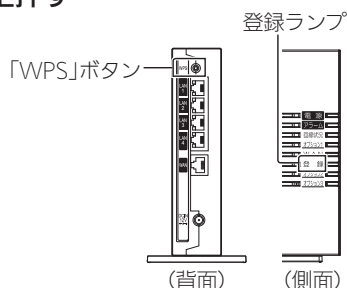


SSID

※タブレット端末では大文字が小文字に変換されて表示されることがあります。

2 情報収集ユニットの「WPS」ボタンを1秒以上押す

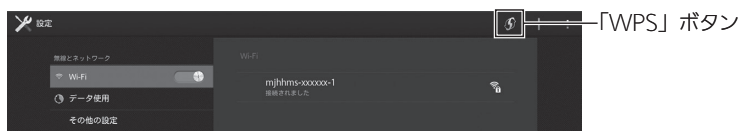
登録ランプが橙色に点滅します。



3 「WPS」ボタン(🔌)をタップする

接続が完了します。

- Androidバージョン5.0以降のWPS設定は、「Wi-Fi詳細設定」画面にあります。詳細はお客様のタブレット端末の取扱説明書をご参照ください。



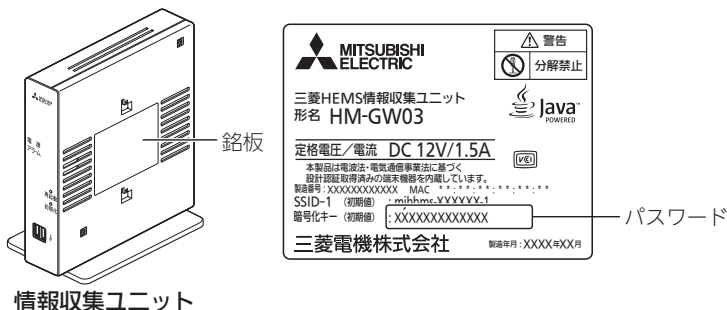
「WPS」ボタンがない場合

パスワードを入力する

- Wi-Fiアイコン(📶)が表示されていることを確認してください。



- パスワード欄には、情報収集ユニットの銘板に表示されている暗号化キーを入力してください。
(半角で入力してください)

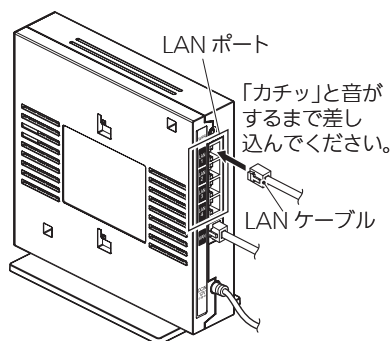


パソコンと情報収集ユニットの接続

パソコン(LANケーブルによる接続)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ: 5e以上)

1 情報収集ユニットのLANポートにLANケーブルを差し込む



情報収集ユニット

2 パソコンにLANケーブルを接続する

おしらせ	<ul style="list-style-type: none">● パソコンのIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにパソコンで設定してください。● パソコンで無線LAN接続(Wi-Fi接続)するときは、パソコンの取扱説明書などを参考にして、情報収集ユニットとの通信設定を行ってください。● パソコンのブラウザでプロキシ設定している場合は、接続できません。● パソコンと無線LANまたは有線LANで接続する場合は、情報収集ユニット以外の通信はOFFにしてください。 例) 有線LANで情報収集ユニットに接続する場合は、無線LANをOFFにする。 <p>※詳しくは、「パソコン接続設定」をご覧ください。(→81ページ)</p>
------	--

設置/接続

機器の設置方法／機器の接続方法

■ 機器の設置方法

各機器を設置します。

- 各機器の設置方法については、各機器の据付工事説明書をご覧ください。
各機器の据付工事説明書・技術マニュアルなどをWebで見ることができます。(→76ページ)
- 情報収集ユニットをインターネット回線に接続するときは、ブロードバンドルーターのLANポートと情報収集ユニットのWANポートをLANケーブルで接続してください。

■ 機器の接続方法

情報収集ユニットと各機器を接続します。

- 情報収集ユニットと各機器を接続する前に、各機器の電源を入れ、初期設定が完了していることを確認してください。詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。
- 各機器を複数台設置することができます。(合計で最大32台)

機器	台数(最大)	
エネルギー計測ユニット(※1)	2	
ホーム分電盤(※1)	1	
エコキュート	2	
エアコン(※2)	10	●
冷蔵庫	4	
IHクッキングヒーター	2	
エアフロー環気システム	2	●
ロスナイセントラル換気システム	2	
ダクト用換気扇	3	
カウンタアローファン	3	●

機器	台数(最大)	
レンジフードファン	2	
バス乾燥・暖房・換気システム	2	
エコヌクール	2	
テレビ	5	
EV用パワーコンディショナ	1	
エアリゾート・センターコントローラー	2(※3)	
電動窓シャッター(ワイヤレス通信機)	1(※4)	
スマートメーター(※5)	1	●
太陽光発電システム	1	
ハイブリッド蓄電システム	1	●

※1：エネルギー計測ユニットとホーム分電盤は併設できません。

※2：ルームエアコンとハウジングエアコンの合計。

※3：エアリゾート・ルームコントローラーは、エアリゾート・センターコントローラー1台に対して最大10台。

※4：電動窓シャッターのワイヤレス通信機に接続可能な電動窓シャッター本体の数は最大32台。

※5：スマートメーター対応USB dongle(形名：HM-DG01-S、別売品)が必要です。

表の●の機器は、「詳細設定」での設定が必要な場合があります。(→56～71ページ)

- 各機器との接続方法については、各機器の技術マニュアルをWebで見ることができます。(→76ページ)

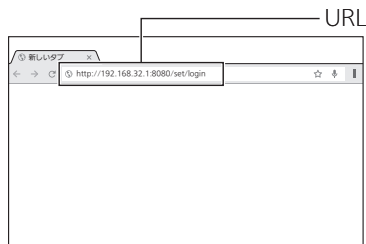
ログイン

ログインする

- オプション1ランプの点灯を確認してから作業を開始してください。情報収集ユニットの電源投入から、オプション1ランプが点灯するまで、約5分かかります。

1 ブラウザーを起動して以下のURLを入力し、ログイン画面を表示する

http://192.168.32.1:8080/set/login

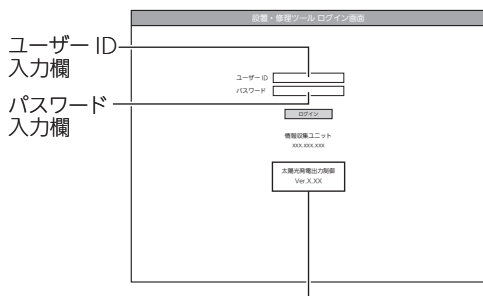


- QRコードを使用してログイン画面を表示した場合、推奨ブラウザ（⇒17ページ）が起動していることを確認してください。

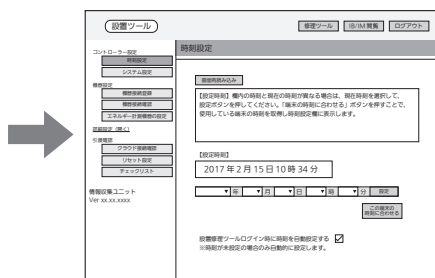
2 ユーザーIDとパスワードを入力し、「ログイン」をタップする

ユーザーIDとパスワードが認証されると、設置ツール画面が表示されます。

- 据付工事業者用のユーザーIDとパスワードは、半角英数字または記号で入力してください。（全角文字は無効です）
キーボード設定によってはログインできない場合があります。ログインできない場合は、入力にGoogleキーボードを使用してください。
ブラウザでパスワードを記憶させないようにしてください。
- 何も操作しないで1時間以上経過するとログアウトします。再度ログインしてください。



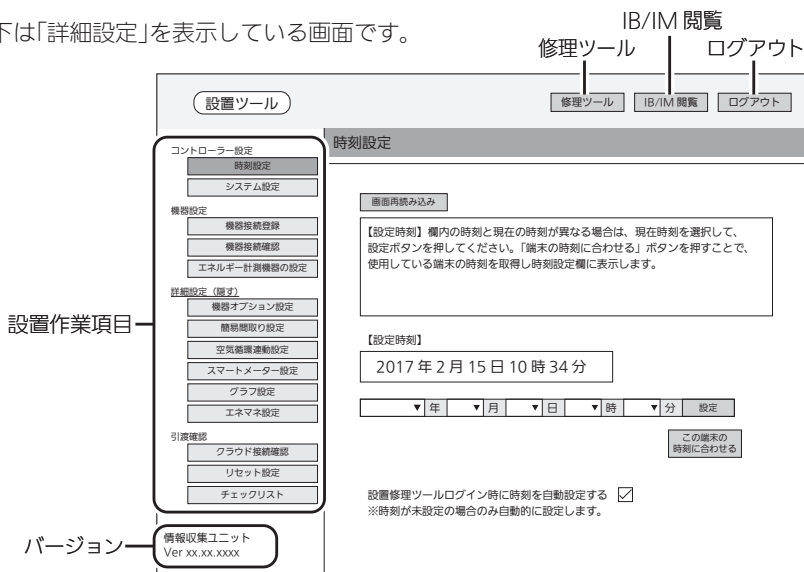
太陽光発電システムを接続しているときに表示されます。



設置ツール画面（⇒27ページ）

■ 設置ツール画面の見かた

※以下は「詳細設定」を表示している画面です。



● 設置作業項目

設置作業で設定する項目が表示されます。

初期状態では「詳細設定」の項目は隠れています。「詳細設定」右横の「開く」をタップすると表示されます。「詳細設定」では、接続された機器に対して行う特別な設定をしたり、ユーザーがタブレット端末用アプリやスマートフォン用アプリで行う設定を容易に行うことができます。

● 「修理ツール」ボタン

メンテナンス時に使用します。

● 「IB/IM閲覧」ボタン

取扱説明書/据付工事説明書を閲覧する画面が表示されます。

ブラウザーの設定で“ポップアップウィンドウを許可”にしてください。(→91、95ページ)

● 「ログアウト」ボタン

ログアウトすると、ログイン画面に戻ります。

● バージョン

情報収集ユニットのバージョンを表示しています。

設定のポイントについては、設置ツール画面の各ステップの赤枠内に記載されています。必ず内容を確認して設定作業を行ってください。

赤枠内に設定のポイントが表示されます。

コントローラー設定

時刻設定

情報収集ユニットの日付・時刻を設定します。

- 情報収集ユニットがインターネットに接続されているときは自動的に設定されます。
日付・時刻情報が自動で取得できない場合は、「設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する」のチェックボックスを ☐ にして、手動で入力を行ってください。
- 日付・時刻を設定しないと正しく動作しないので、必ず設定してください。
情報収集ユニットの電源をOFFにすると設定時刻がクリアされます。電源をOFF(停電等を含む)にした場合は、再度日付・時刻を設定してください。

1 「時刻設定」をタップする

「時刻設定」画面が表示されます。

時刻設定画面

2 設定する項目(年/月/日/時/分)を選択して、「設定」をタップする

「設定時刻」欄の表示が更新されます。

- 「この端末の時刻に合わせる」をタップすると、タブレット端末またはパソコンで設定されている時刻が時刻入力欄に表示されます。
- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。
- 正しい日付・時刻が表示されないときは、再度設定してください。
- 「設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する」にチェックを入れると、設置ツールにログインしたときに時刻が設定されていない場合に自動的に設定します。
- 「画面再読み込み」をタップすると、再度時刻設定画面が表示されます。時刻設定が完了すると、「画面再読み込み」の表示は消えます。

画面再読み込み
設定時刻
設定
年/月/日/時/分
この端末の時刻に合わせる

設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する

システム設定

お客様に引き渡すときに、引渡年月の入力と冬期間、買取方式の設定を行います。

1 「システム設定」をタップする

「システム設定」画面が表示されます。

- 別画面に遷移する場合は、「設定」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。

システム設定画面

2 「引渡年月入力」欄で引渡年月、「冬期間」欄で冬期間、「買取方式」で買取方法を選択する

- 「引渡年月入力」欄では、「年」、「月」をプルダウンメニューから選択します。
- 「冬期間」欄では、「月」をプルダウンメニューから選択します。設定された期間は、冬期換気量抑制などの機能で使われます。
- 「買取方式」欄では、太陽光発電の契約方式である「余剰買取」、「全量買取」のいずれかをプルダウンメニューから選択します。
※太陽光発電システム用計測ユニットが接続されている場合は、買取方式の設定は反映されません。

余剰買取： 発電した電力から使用した電力を引いて余った電力のみを電力会社が買い取り

全量買取： 発電したすべての電力を電力会社が買い取り

3 「設定」をタップする

- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。



機器設定

機器接続登録

機器の接続／登録を行います。

有線LANまたは無線LANで情報収集ユニットと機器を接続してください。

■ 有線LANアダプター(HEMS用)で接続する

各機器と情報収集ユニットを有線LANで接続します。

有線LAN機器は情報収集ユニットとLANケーブルで接続してください。

テレビはブロードバンドルーターに接続してください。詳細は、19ページの「おしらせ」をご覧ください。

有線LANで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。(→4～5ページ)

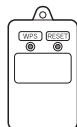
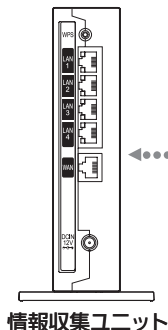
■ 無線LANアダプター(HEMS用)で接続する

各機器と情報収集ユニットを無線LANで接続します。

無線LANアダプターで接続するときは、対象機器に1台ずつ接続してください。

無線LANアダプターで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。

(→4～5ページ)



無線 LAN アダプター(HEMS 用)

※機器によっては、仕様が異なることがあります。

1 設置ツール画面の「機器接続登録」をタップする

「機器接続登録」画面が表示されます。

No	機器名	接続方法	接続先	接続情報
1	エアコン1	無線LAN	無線LAN	無線LAN

【Wi-Fi 実行】ボタンは、情報収集ユニット側の Wi-Fi ボタンを操作して実行するものです。

無線LAN接続ユニットに接続し、登録されたアダプター一覧に表示しています。リモコンなどはここに
は表示されませんので「機器接続登録」画面を操作してください。最新の登録情報を上部に表示
します。

無線LAN機器での Wi-Fi 実行、有線LAN機器のケーブル挿入によっても、機器が表示されない
場合は「実行」ボタンを、登録されている機器の接続情報に一致しない場合は「接続」
情報の「実行」ボタンを押下することで改善することがあります。

機器接続登録画面

2 無線LANアダプターのランプ3が緑色に点滅していることを確認する

- ランプ3は5秒に1回点滅します。
- ランプ1、2は消灯しています。
- 注意：工場出荷状態から初めて起動するとランプ1消灯、ランプ2消灯、ランプ3緑点滅までに約3分かかります。
ランプ1消灯、ランプ2消灯、ランプ3緑点滅になるまで、WPSは行わないでください。
- IHクッキングヒーターを接続する場合は、操作が異なります。
詳しくは、IHクッキングヒーター用無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANアダプターのランプ表示が異なる場合は、無線LANアダプターの取扱説明書・据付工事説明書をご覧ください。



3 設置ツール画面の「WPS実行」をタップする

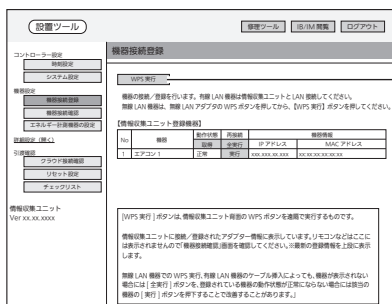
- 情報収集ユニット背面の「WPS」ボタンを押す作業に相当します。

情報収集ユニットの登録ランプが橙色に点滅します。

登録ランプ



(側面)

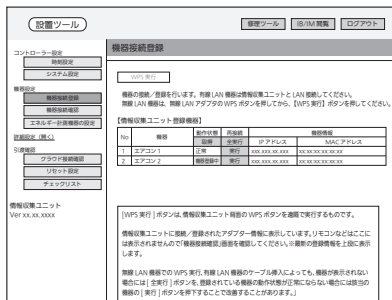
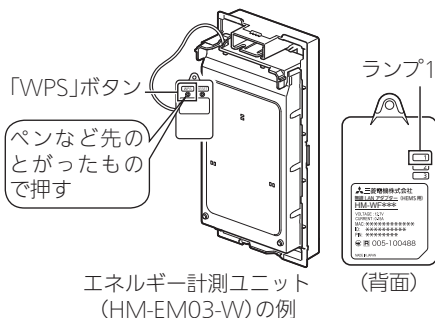


WPS実行

4 無線LANアダプターの「WPS」ボタンをランプ1が点滅するまで押す(約2秒)

ランプ1が緑色に点滅します。

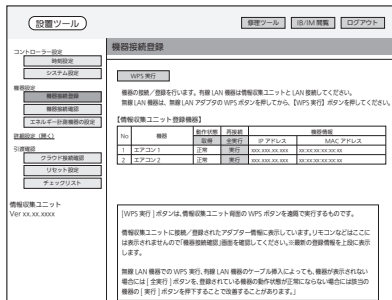
- 操作3を行ったあと、2分以内に操作してください。
- 「WPS」ボタンを10秒以上押すと、2分後にエラーになります。



WPS 実行中画面

5 無線LANの登録が完了したことを確認する

無線LANの登録が完了すると、右の画面が表示され登録した機器の名称が追加表示されます。



WPS 完了画面

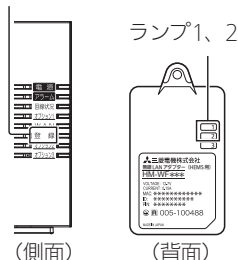
情報収集ユニットと登録した無線LANアダプターのランプは、以下のように表示されます。

情報収集ユニットの登録ランプ : 橙色に点灯(10秒間)
無線LANアダプターのランプ1 : 緑色に点灯(5秒間)後、5秒に1回点滅(2回連続して点滅)

になれば、設定完了です。

- 情報収集ユニットのアラームランプ : 赤色に点滅(10秒間)
無線LANアダプターのランプ2 : 橙色に点灯(5秒間)
になったときは、2分以上たってからもう一度、操作3からやり直してください。

登録ランプ



<ランプ表示の一覧>

情報収集ユニットと各機器の無線LANアダプターのランプ表示は、次のようになります。

【情報収集ユニット】

状態	電源ランプ	アラームランプ	オプション1ランプ	登録ランプ
WPS通信開始前 ※1	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	消灯
WPS通信中	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点滅
WPS通信に成功	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点灯(約10秒)
WPS通信に失敗 ※2	緑色に点灯	赤色に点滅(約10秒)	緑色に点灯	橙色に点滅(約10秒)

※1：電源を入れてから約5分経過後。

※2：約10秒後にWPS通信開始前の状態に戻ります。

※3：その他の情報収集ユニットのランプ表示については、情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

【各機器の無線LANアダプター】

状態	ランプ1	ランプ2	ランプ3
WPS通信開始前 ※4	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
WPS通信中	緑色に点滅(1秒に1回)	消灯	消灯
WPS通信に成功	緑色に点灯(5秒間)	消灯	消灯
WPS通信に失敗	消灯	橙色に点灯(5秒間)	消灯
通常時(WPS通信完了後)	緑色に点滅(5秒に1回) ※5	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※4：電源を入れてから約3分経過後。

※5：2回連続して点滅します。

■ 機器の接続と登録を確認する

接続されている機器の状態を一覧表示します。

- 部屋の扉を閉めるなど、お客様が実際に行う環境に合わせて接続確認を行ってください。

1 「機器接続登録」をタップする

情報収集ユニットに登録された機器の一覧が表示されます。また、状態を確認することができます。

設定ツール

機器接続登録

WPS実行

接続の確認 / 登録を行います。右側 LAN 機器は情報収集ユニットと LAN 接続してください。
 初期 LAN 機器は、初期 LAN アダプタの WPS ボタンを押してから、[WPS 実行] ボタンを押してください。

【情報収集ユニット登録情報】

No.	機器名	接続状態	IP アドレス	MAC アドレス
1	エアコン1	正常	192.168.0.101	00:00:00:00:00:00
2	エアコン2	正常	192.168.0.102	00:00:00:00:00:00
3	テレビ1	正常	192.168.0.103	00:00:00:00:00:00
4	ホームサーバー	正常	192.168.0.104	00:00:00:00:00:00

【WPS 実行】ボタンは、情報収集ユニット側の WPS ボタンを操作して実行するものです。
 情報収集ユニットに接続 / 登録されたアダプター一覧にしています。リモコンなどはここに
 は表示されませんので【接続状態確認】画面を確認してください。※最新の接続情報を上段に表示
 します。
 初期 LAN 機器での WPS 実行 / 初期 LAN 機器のケーブル挿入によっても、機器が表示されない
 場合には【全実行】ボタンを押して、接続されている機器の動作状態が正常にならない場合には該当の
 機器の【実行】ボタンを押下することを確認することとなります。

情報収集ユニット
 Ver. 00.00.0000

機器の接続と登録の状態確認画面

項目	内容
動作状態	各機器の動作状態が表示されます。
再接続	タップすると機器に再接続し、動作状態、IPアドレス、MAC アドレスを再取得します。
IPアドレス	各機器に割り当てられたIPアドレスが自動で表示されます。
MACアドレス	各機器のMACアドレスが自動で表示されます。

2 リストに機器が表示されないときは、「全実行」をタップして、機器登録をしてください。

登録されるまで約1分かかります。

- 登録後、「取得」をタップして接続された機器がリストに表示されていることを確認してください。
- ※情報収集ユニットの起動→設置
 ツールの立ち上げ→有線LAN機器
 の起動の順に操作すると、自動的
 に機器が登録されます。

設定ツール

機器接続登録

取得

WPS実行

接続の確認 / 登録を行います。右側 LAN 機器は情報収集ユニットと LAN 接続してください。
 初期 LAN 機器は、初期 LAN アダプタの WPS ボタンを押してから、[WPS 実行] ボタンを押してください。

【情報収集ユニット登録情報】

No.	機器名	接続状態	IP アドレス	MAC アドレス
1	エアコン1	正常	192.168.0.101	00:00:00:00:00:00
2	エアコン2	正常	192.168.0.102	00:00:00:00:00:00
3	テレビ1	正常	192.168.0.103	00:00:00:00:00:00
4	ホームサーバー	正常	192.168.0.104	00:00:00:00:00:00

【WPS 実行】ボタンは、情報収集ユニット側の WPS ボタンを操作して実行するものです。
 情報収集ユニットに接続 / 登録されたアダプター一覧にしています。リモコンなどはここに
 は表示されませんので【接続状態確認】画面を確認してください。※最新の接続情報を上段に表示
 します。
 初期 LAN 機器での WPS 実行 / 初期 LAN 機器のケーブル挿入によっても、機器が表示されない
 場合には【全実行】ボタンを押して、接続されている機器の動作状態が正常にならない場合には該当の
 機器の【実行】ボタンを押下することを確認することとなります。

情報収集ユニット
 Ver. 00.00.0000

全実行

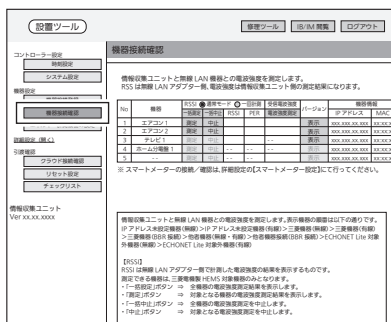
機器接続確認

情報収集ユニットと無線LAN機器との電波強度を測定します。

- RSSIは無線LANアダプター側、電波強度は情報収集ユニット側の測定結果が表示されます。

1 「機器接続確認」をタップする

「機器接続確認」画面が表示されます。

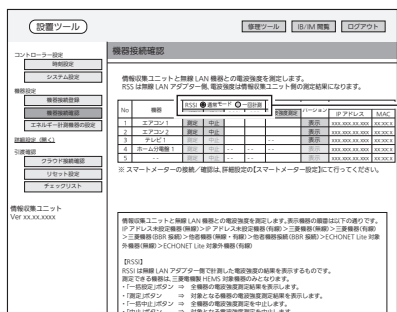


機器接続確認画面

2 計測モードを選択する

通常は「通常モード」に設定してください。

- **通常モード**： 100回計測した平均値を表示します。
- **一回計測**： 1回のみ計測した値を表示します。



一 計測モード

3 「一括測定」をタップする

RSSI/PERの測定を開始します。



- 括測定 /
- 括中止

一測定 / 中止

- 自動でRSSI/PERの測定結果が色または数値で表示されます。
(接続されている台数によって時間が異なります。場合によっては約30秒以上かかることがあります。)

	表示色		
	緑色	黄色	赤色
RSSI (※1)	-75dBm以上	-75dBm～-85dBm	-85dBm未満
PER (※2)	5%未満	5%～10%	10%以上

※1：RSSI(Received Signal Strength Indicator)

受信した電波の強度を示す指標。

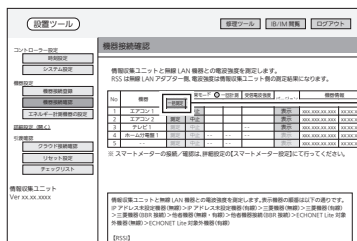
※2：PER(Packet Error Rate)

パケット誤り率。受信品質を示す指標。

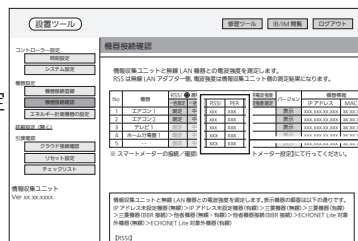
※3：有線LANで接続した機器については、「RSSI」欄には「-」、「PER」欄に「*」と表示されます。

RSSIの数値が緑色(-75dBm以上)であることを確認してください。

- RSSIの数値が黄色(-75dBm～-85dBm)または赤色(-85dBm未満)のときは、情報収集ユニットの向きや位置を変えてから、もう一度「一括測定」をタップしてください。
- 「ERR」と表示されたときは、機器の電源が入っているか、無線LANアダプターが正常に動作しているかを確認し、再度測定してください。
再度測定しても「ERR」の表示が消えない場合は、「ERR」と表示された機器に情報収集ユニットを近づけて再度測定してください。
- RSSIとPERの測定を中止するときは、「一括中止」をタップしてください。
- 機器ごとに個別に測定するときは、「測定」をタップしてください。(測定を中止するときは「中止」をタップしてください。)



一括測定



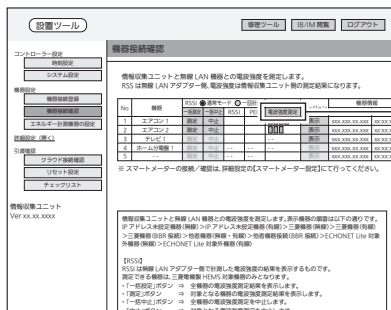
RSSI, PER

4 「電波強度測定」をタップする

電波強度の測定を開始します。

- 情報収集ユニットで測定した受信電波強度の測定結果が以下のように表示されます。

測定結果	表示 (色)
非常に強い	■■■■ (緑色)
強い	■■■ (緑色)
普通	■■ (黄色)
弱い	■ (赤色)
通信不可	NG
有線LAN機器、または接続不可状態の無線機器	—

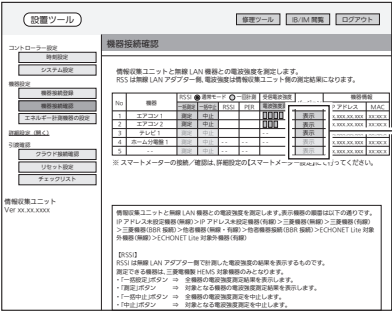


電波強度測定

5 「表示」をタップする

各機器のバージョン情報(機器情報)の別画面が表示されます。

- 無線LAN機器と有線LAN機器では表示される内容が異なります。
- 表示される別画面の「画面更新」をタップすると画面が最新状態に更新されます。RSSIとIT通信状態の変化を確認するときに使用します。



表示

①無線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。



画面更新

項目	説明
URL	タップした機器の無線LAN アダプターのURL。それぞれ以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">● 無線LAN アダプター接続機器 (エアコンなど) URL : http : //(IP アドレス)/unitinfo● 情報収集ユニット URL : http : //192.168.32.1
「型名」から「MACアドレス」まで	無線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
RSSI	Received Signal Strength Indicator (無線LANアダプターが) 受信した電波の強度を示す指標。
IT通信状態	無線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器	接続機器 (この例ではエコキュート) のソフトウェアバージョン
製造番号	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	無線LANアダプターと接続されている機器の情報

②有線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。



画面更新

項目	説明
URL	タップした機器の有線LANアダプターのURL。それぞれ以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">● 有線LAN アダプター接続機器 (スマート環気システムなど) URL : http : //(IPアドレス)/unitinfo● 情報収集ユニット URL : http : //192.168.32.1
「型名」から「MACアドレス」まで	有線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
IT通信状態	有線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器	接続機器 (この例ではスマート環気システム) のソフトウェアバージョン
製造番号	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	有線LANアダプターと接続されている機器の情報

※ダクト用換気扇、レンジフードファン、カウンターローファン、ロスナイセントラル換気システム
⇒「スマート環気システム」と表示されます。
※バス乾燥・暖房・換気システム⇒「バス乾」と表示されます。

エネルギー計測機器の設定

①初期設定

- エネルギー計測ユニットとホーム分電盤は併設できません。
エネルギー計測ユニットとホーム分電盤が機器登録されている場合には「エネルギー計測ユニットの設定」画面が表示され、エネルギー計測ユニットを使用した計測となります。ホーム分電盤に内蔵されている計測機能を使用することはできません。

■ エネルギー計測ユニットの場合

- 同梱している「三菱HEMS エネルギー計測ユニット CT設定チェックシート」を使用して設定してください。
- 設定できる台数は以下のとおりです。

機器名	台数(最大)	1台の設定に必要なCTの数
主幹	1	2
太陽光発電	4	1(※1)
外部発電機(※2)	1	1(※1)
蓄電池	1	2
蓄電池負荷	1	1(※1)
その他の機器(負荷)	16(※3)	1
ガス(※4)	1	
水道(※4)	1	

※1:CTを2個使用することもできます。

※2:外部発電機とは、エネファームやエコウィルなどを指します。

※3:エネルギー計測ユニット1台に接続できるCTの最大数は16個です。

主幹、太陽光発電、外部発電機、蓄電池に設定した場合は、その他の機器に使用できる台数は少なくなります。

※4:ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

CTがなくても電力計測できる機器があります。

対象機器(機種)は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

- エネルギー計測ユニットが2台接続されている場合の操作方法 (⇒47ページ)

- | 機器名 | 台数(最大) | |
|------------|--------|-----------|
| 主幹 | 1 | |
| 太陽光発電 | 4 | |
| 外部発電機(※1) | 1 | 拡張計測ユニット |
| 蓄電池 | 1 | |
| その他の機器(負荷) | 40 | |
| ガス(※2) | 1 | パルス計測ユニット |
| 水道(※2) | 1 | |

※2: ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

「エネルギー計測機器の設定」画面が表示されます。

- 接続されているエネルギー計測機器によって、設定画面が異なります。
- 別画面に遷移する場合は、「設定」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。

エネルギー計測機器の設定画面
(エネルギー計測ユニットの設定)

エネルギー計測機器の設定画面 (ホーム分電盤の設定)

※上図では黒枠部が異なります。

2 【ブレーカー設定】の各項目を設定する

CTごとに各項目を設定します。

- 接続されているエネルギー計測機器によって、ブレーカー設定の設定項目が異なります。
 - 蓄電池を設定した場合は、蓄電池待機電力(W)を入力します。(CTなしで電力計測している蓄電池の場合、この設定は不要です)
- 複数台の蓄電池がある場合は、共通の設定になります。

(エネルギー計測ユニットの設定)

(ホーム分電盤の設定)

蓄電池
待機電力
ブレーカー
設定

- エネルギー計測機器に異常があった場合は、エラー数とエラー内容を表示します。
- 「更新」をタップするとエラー内容を更新できます。
- エラー内容を確認し、エラーの原因を取り除いてから「進む」をタップしてエネルギー計測機器の設定に進んでください。エラーが解消されていなくても「進む」をタップできますが、エラーが解消されていない場合、設定を完了できないことがあります。

エラー数
エラー内容

エネルギー計測機器の設定（エラー内容）画面

<CTの設定方法>

1. 「計測種別」を選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

設定項目	備考
「主幹」	CT1-1からCT4-2の間で設定してください。
「太陽光発電(CT1個)」	●「主幹」、「太陽光発電(CT2個)」、「外部発電機(CT2個)」および「蓄電池」はCTを2つ使用します。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
「蓄電池」	
「蓄電池負荷」	CT1-1からCT8-2の間で設定してください。
「負荷」	

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定	相線式
1-1	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
1-2	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
2-1	▼	▼		▼
2-2	▼	▼		▼
3-1	太陽光発電 (CT1個) ▼	太陽光発電 1 ▼		単相3線 ▼
3-2	▼	▼		▼
4-1	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
4-2	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		▼
5-1	▼	▼		▼
5-2	▼	▼		▼
6-1	蓄電池負荷 ▼	蓄電池負荷 1 ▼		単相2線 ▼
6-2	▼	▼		▼
7-1	負荷 ▼	エアコン 1-CT ▼		単相2線 ▼
7-2	▼	▼		▼

(ホーム分電盤の設定)

設定項目	備考
「太陽光発電」	追加計測ユニット1から追加計測ユニット7の間で設定してください。
「外部発電機」	
「蓄電池」	
「系統」	追加計測ユニット1から追加計測ユニット7、CH1からCH40の間で設定してください。

【ブレーカー設定】

計測チャンネル	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定
主幹	—	—	—
追加計測ユニット1	太陽光発電 ▼	太陽光発電 1 ▼	▼
追加計測ユニット2	外部発電機 ▼	外部発電機 2 ▼	▼
追加計測ユニット3	蓄電池 ▼	蓄電池 3 ▼	▼
追加計測ユニット4	系統 ▼	系統 4 ▼	▼
追加計測ユニット5	▼	▼	▼
追加計測ユニット6	太陽光発電 ▼	任意入力 ▼	ソーラー ▼
追加計測ユニット7	外部発電機 ▼	任意入力 ▼	燃料 ▼
CH1	▼	▼	▼
CH2	系統 ▼	CT-CH2 ▼	▼
CH3	系統 ▼	CT-CH3 ▼	▼
CH4	系統 ▼	任意入力 ▼	CH4 ▼
CH5	▼	▼	▼

2. 「分岐ブレーカー名」を選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

計測種別	設定項目
「主幹」	「主幹」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	「太陽光発電1」～「太陽光発電4」、「発電機1」～「発電機4」から選んでください。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	「蓄電池1」～「蓄電池4」から選んでください。
蓄電池負荷	「蓄電池負荷1」～「蓄電池負荷4」から選んでください。
負荷	系統、エアコン、エコキュート、エコナクール、クッキングヒータ、冷蔵庫、テレビ、換気扇から選んでください。 系統および各機器は、1～10まで選択できます。

(ホーム分電盤の設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電」	「太陽光発電○」が自動で選ばれます。
「外部発電機」	「外部発電機○」が自動で選ばれます。
「蓄電池」	「蓄電池○」が自動で選ばれます。
「系統」	「系統○」または「CT-CHO」が自動で選ばれます。

※「任意入力」を選択したときは、「名称任意設定」欄に名称を入力してください。(全角10文字以内)

※「分岐ブレーカー名」は、お客様が使用するアプリの「グラフ表示設定」に使用します。

実際の分電盤にラベルがある場合は、「分岐ブレーカー名」をラベルと合わせてください。

※お客様がアプリの「グラフ表示設定」でグラフに表示する名称を変更された場合は、「分岐ブレーカー名」の変更が反映されません。

3.「相線式」から「単相3線」または「単相2線」を選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「単相3線」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	「単相3線」「単相2線」から選んでください。 ●「単相3線」を選んだときは、CTを2つ使用します。 ●「単相2線」を選んだときは、CTを1つ使用します。
蓄電池負荷	
負荷	「単相2線」が自動で選ばれます。

4.「CT種別」から取り付けたCTを選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「CT黒大」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	「CT黒大」「CT白」から選んでください。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	
蓄電池負荷	「CT黒大」「CT白」「CT黒小」から選んでください。
負荷	

5.「電圧」をブレーカーに応じて選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電(CT1個)」	「200V」が自動で選ばれます。
「外部発電機(CT1個)」	
「主幹」	「L1-100V」「L2-100V」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	
蓄電池負荷	「単相2線」を選んだときは、「L1-100V」「L2-100V」から選んでください。 「単相3線」を選んだときは、「L1-100V」「L2-100V」が自動で選ばれます。
負荷	「L1-100V」「L2-100V」「200V」から選んでください。

(ホーム分電盤の設定)

計測チャンネル	設定項目
追加計測ユニット1～7	電圧は取得できません。「－」を表示します。
CH1～CH8	ホーム分電盤から取得した各CHの電圧を表示します。
CH9～CH40	100V固定です。「－」を表示します。

3 「ガス・水道メーター設定」欄で各項目を設定する

以下の項目について、プルダウンメニューから選択します。

(エネルギー計測ユニットの設定)

●使用状況： 使用／未使用

「使用」を選択している場合は、「流量(l /パルス)」の値を入力してください。

● 流量(ℓ /パルス)：数値を入力します。

「流量(ℓ／パルス)」の値は、使用するメータの仕様を確認してください。

(ホーム分電盤の設定)

●使用状況： 未使用／系統1-1／系統1-2／系統2-1／系統2-2

「未使用」以外を選択している場合は、「流量(l / パルス)」の値を入力してください。

ホーム分電盤では、一般的にガス：「系統1-2」、水道：「系統1-1」を選択します。実際に使用して確認してください。

● **流量(l /パルス)**：数値を入力します。

「流量(ℓ／パルス)」の値は、0.0001～99999の範囲で入力できます。

[illegible]

ガス・水道メーター設定

[illegible]

②動作確認

- エネルギー計測ユニットでの動作確認を説明をします。ホーム分電盤でも同様に動作確認をしてください。詳しくは、ホーム分電盤の施工ガイドをご覧ください。

1. CT接続の確認

以下の項目を点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。(機能が発揮されません)

- ☐ 各機器が正常に動作していること
- ☐ 系統連系(逆潮流)可能であること

※系統連系不可能である場合には太陽光発電用ブレーカー操作を行わずエネルギー計測ユニットの据付工事説明書に従い、CT(太陽光発電用)の向きを目視で確認してください。

<瞬時値の符号について>

計測種別	瞬時値符号
主幹	買電中：正の値／売電中：負の値
発電機(太陽光など)	発電中：正の値
蓄電池	充電中：正の値／放電中：負の値
蓄電池負荷	動作中：正の値
負荷	動作中：正の値

・設定例

The screenshot shows the 'エネルギー計測機の設定' (Energy Meter Setting) screen. It includes sections for 'システム連系' (System Connection), 'エネルギー計測ユニット' (Energy Meter Unit), and '計測値' (Measurement Values). A table at the bottom displays real-time values for various components.

項目	単位	値
主幹	kWh	0.00
発電機	kWh	0.00
蓄電池	kWh	0.00
蓄電池負荷	kWh	0.00
負荷	kWh	0.00

- エネルギー計測ユニットのCTが正しく取り付けられているかを以下の方法で確認すること
※太陽光発電システムが発電できる状態(日中の晴天時あるいは曇天時)で実施してください。

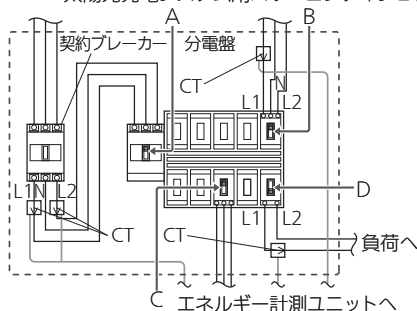
■ CT(主幹用)の取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

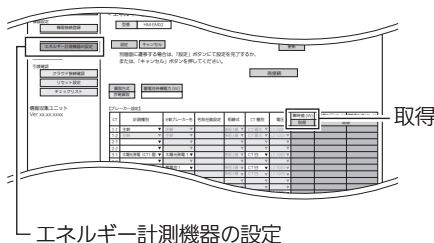
- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー(200V) : OFF
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)

太陽光発電システム用パワーコンディショナへ



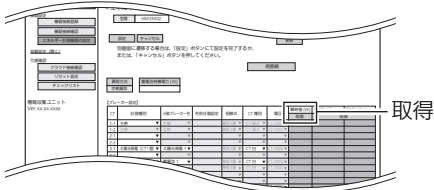
②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



③200Vの負荷用分岐ブレーカー(D)を ONにする

④負荷用分岐ブレーカー(D)に接続されている機器を運転する

⑤約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑥瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

+ 表示 → + 表示 (増加)

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W) 取得
1-1	主幹 ▼	主幹 ▼	L1-100V ▼	50
1-2	主幹 ▼	主幹 ▼	L2-100V ▼	50
2-1	太陽光発電 (CT1 側) ▼	太陽光発電 1 ▼	L1-100V ▼	0
2-2	太陽光発電 (CT2 側) ▼	太陽光発電 2 ▼	L1-100V ▼	0

0 (固定)

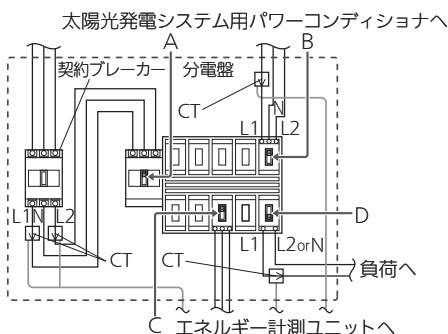
主幹が－(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② エネルギー計測ユニットとエネルギー計測ユニット用ブレーカー間の配電ケーブルのL1相接続とL2相接続を互い違いに接続していないか確認してください。
- ③ L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。
- ④ 太陽光発電用ブレーカーがOFFになっているか確認してください。
- ⑤ エネルギー計測ユニットの電源ケーブルのL1とL2が互い違いに接続をされていないか確認してください。分岐ブレーカーの種類、取付位置によって接続箇所のL1,N,L2の並び順は異なります。

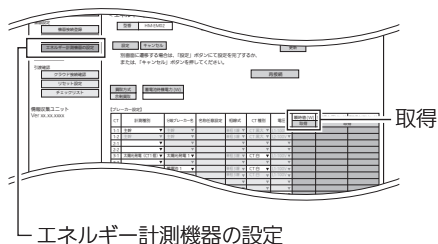
■ CT(負荷用)の取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
 - B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
 - C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
 - D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF
- ※使用していない機器の電源をOFFにしてください。
(情報収集ユニットを除く)



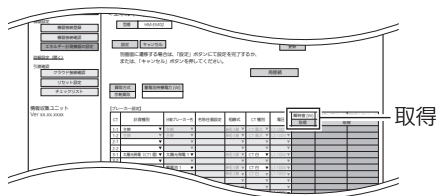
②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



③負荷用分岐ブレーカー(D)を ONにする

④負荷用分岐ブレーカー(D)に接続されている機器を運転する

⑤約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑥瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：同じ電力値分だけ増加します。

②～⑥の変化幅は主幹と負荷量とも同じです

※3：負荷(单相2線)の瞬時値には－(マイナス)の数値は表示されません。

+ 表示 → + 表示 (増加)※2

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W) 取得
1-1	主幹	主幹	L1-100V	50
1-2	主幹	主幹	L2-100V	50
2-1				
6-1				
6-2				
7-1	負荷	エアコン1-CT	200V	25
7-2				

0 → + 表示 (増加)※2

■ CT(太陽光発電・発電機用)を1個接続したときの取付を確認する場合

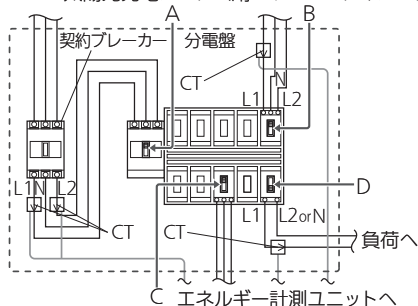
①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF

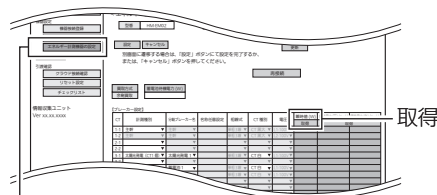
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)

太陽光発電システム用パワーコンディショナへ



②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする

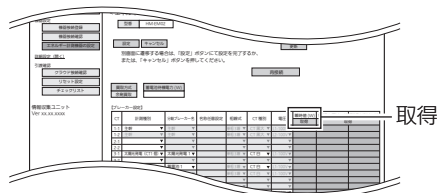


エネルギー計測機器の設定

③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑤瞬時値(単位: W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1: -(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2: エネルギー計測ユニット(主幹)の-(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W) 取得
1-1	主幹	主幹	L1-100V	-75
1-2	主幹	主幹	L2-100V	-75
2-1	太陽光発電 (CT1 個)	太陽光発電 1	L1-100V	200
2-2				

+ 表示 → + 表示 (減少) または - 表示 (売電)

0 → + 表示

画面例) 太陽光発電の場合

太陽光発電(発電機)が-(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTを間違えてL2相接続用に取り付けていないか確認してください。

■ CT(太陽光発電・発電機用)を2個接続したときの取付を確認する場合

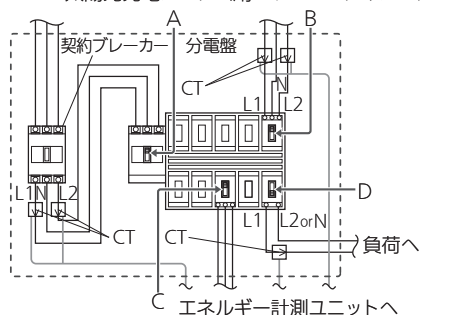
①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF

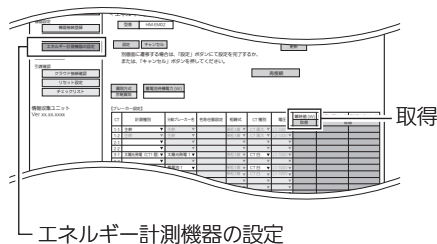
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)

太陽光発電システム用パワーコンディショナへ



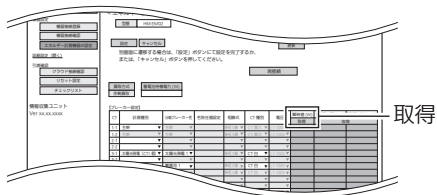
- ②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

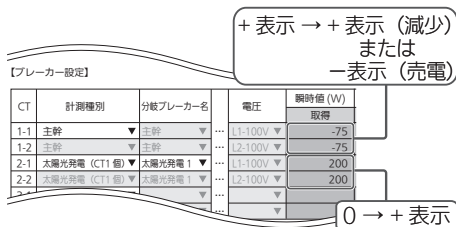
- ④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ⑤瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：エネルギー計測ユニット(主幹)の－(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。



画面例) 太陽光発電の場合

太陽光発電(発電機)が－(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。

2. ガス・水道メーターの動作確認

① ガス・水道の使用量を確認する

2-2	▼	▼	▼				
3-1	▼	▼	▼				

【ガス・水道メーター設定】

メーター	使用状況	消費量 / 10s	入力範囲	積算値 取得
ガス	使用 ▼	10	0.0001 ~ 99999	
水道	使用 ▼	1	0.0001 ~ 99999	

② 「積算値」欄の「取得」をタップする

【ガス・水道メーター取得】				
メーター	使用状況	消費量 / 10s	入力範囲	取得
ガス	使用	10	0.0001 ~ 99999	
水道	使用	1	0.0001 ~ 99999	

③ 水道から水を出す／ガスを使用する

④ 約 1 分後、「積算値」欄の「取得」をタップする

2.2

▼

2.1

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

<

⑤ 「流量 Q / パルス」が条件を満たしているかどうかを確認する 使用している分だけ増加します。

メーター	使用状況	消費量 / 10s	入力範囲	積算値
2-2	▼	10	0.0001 ~ 99999	20
3-1	▼	1	0.0001 ~ 99999	2

【ガス・水道メーター設定】

メーター	使用状況	消費量 / 10s	入力範囲	積算値 取得
ガス	使用 ▼	10	0.0001 ~ 99999	20
水道	使用 ▼	1	0.0001 ~ 99999	2

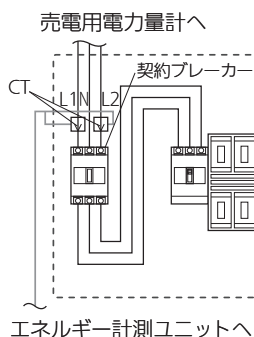
全量買取の場合のCT取付について

全量買取の場合は必ず以下に従ってCTの取り付け、および施工を行ってください。

- 全量買取でご使用の場合は、対応した情報収集ユニットのバージョンをお使いください。

情報収集ユニットのバージョン「001.001.100」以降が対応しております。バージョンの末尾の数字が「100」以降であることをご確認ください。それよりも前のバージョンをお使いの場合は対応しておりませんので、情報収集ユニットのバージョンアップをお願いします。（更新方法は、『取扱説明書 操作編 6章』をご確認ください）

- 全量買取でご使用の場合は、売電メーター系統と買電メーター系統が同一トランス配下の系統であることをご確認ください。系統が異なる場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットと買電メーター系統用のエネルギー計測ユニットの2台を設置する必要があります。その場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットには、太陽光発電の電力計測以外には使わないでください。
- 本製品を全量買取でご使用の場合は、全量買取制度に従った施工をしてください。



- CTが2個の場合は、L1/L2にそれぞれ同様にCTを取付けてください。

詳細設定

機器オプション設定

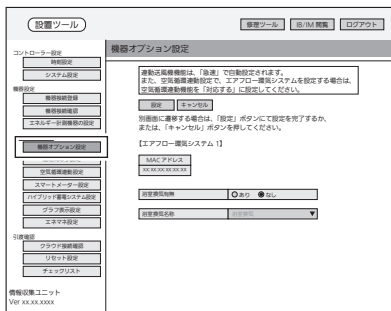
エアフロー環気システムについての初期設定を行います。

- 最大2組まで設定できます。
- エアフロー環気システムが接続されていない場合、「機器オプション設定」画面は表示されません。

1 「機器オプション設定」を タップする

「機器オプション設定」画面が表示されます。

- 別画面に遷移する場合は、「設定」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。



機器オプション設定画面

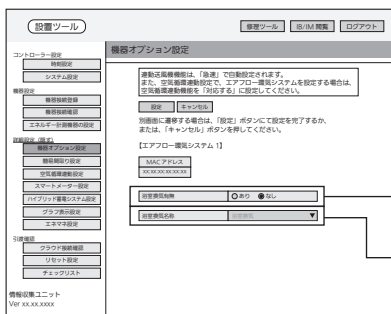
2 各エアフロー環気システムの設定を行う

以下の項目について、設定します。

- **浴室換気有無：** あり／なし
「なし」を選択すると、間取り設定で浴室換気の機器アイコン、および機器操作での浴室換気が表示されなくなります。
- **浴室換気名称：** 浴室換気／洗面換気／小屋裏換気／玄関換気／トイレ換気／ユーザー設定

浴室換気の設置場所を名称から選択します。

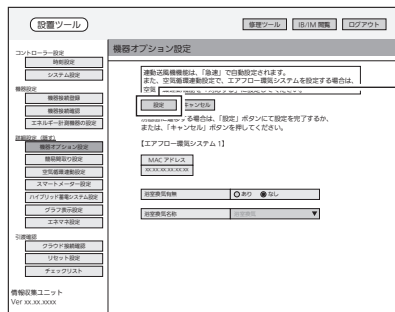
お客様がアプリの間取り設定で名称を設定したあとは「ユーザー設定」となり、変更できません。



浴室換氣 有無	
浴室換氣 名称	

3 「設定」をタップする

確認メッセージが表示されるので、「OK」をタップします。



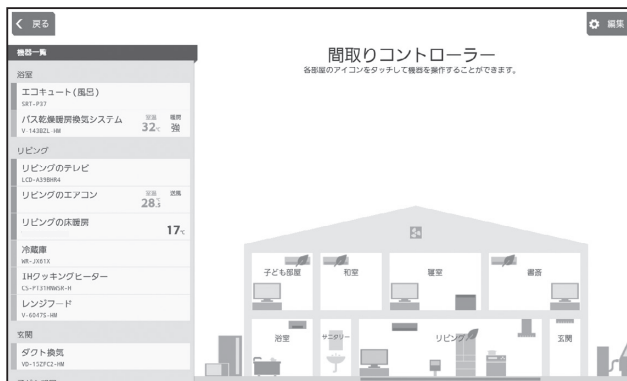
設定

簡易間取り設定

接続された機器を、あらかじめ設定した間取りに割り付けます。

- 部屋タイプの名称、機器名称は、お客様が使用するアプリの間取りコントローラに反映されます。
- 簡易間取りを設定すると、お客様が使用するタブレット端末には以下のように表示されます。設定ツール画面では、この間取り画面は表示できません。

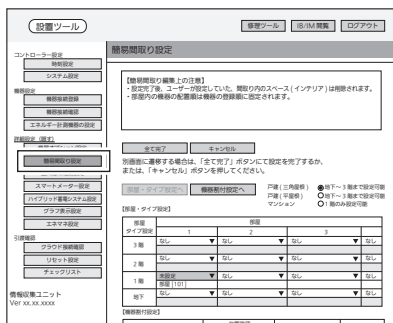
<間取り例>



1 「簡易間取り設定」をタップする

「簡易間取り設定」画面が表示されます。

- 別画面に遷移する場合は、「全て完了」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。
- スペースや各インテリアの設定はできません。

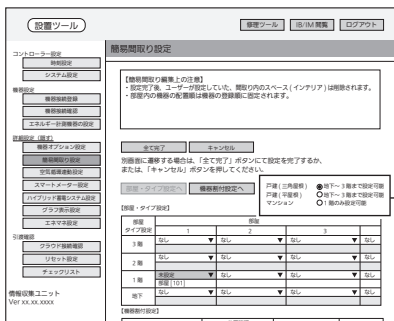


簡易間取り設定画面（部屋・タイプ設定）

2 建築物のタイプを設定する

「戸建(三角屋根)」「戸建(平屋根)」「マンション」から選んでください。

- 「マンション」を選んだときは、1階のみ設定できます。



間取り
タイプ

3 部屋タイプを設定する

プルダウンメニューから部屋タイプ
(21種類)を選択します。

<プルダウンメニュー>

なし／未設定／リビング／寝室／
書斎／居室／洋室／和室／玄関／
洗面／浴室／キッチン／ダイニング
／階段／廊下／ホール／トイレ／
納戸／LDK／非居室／応接室

部屋タイプ (上段)
部屋名称 (下段)

- 部屋タイプは、最上階の左上から順番に表示されます。
<間取り例> (→58ページ) の場合は、以下のように設定します。

例)

2 階	居室 ▼	和室 ▼	寝室 ▼	書斎 ▼
	子ども部屋	和室	寝室	書斎
1 階	浴室 ▼	トイレ ▼	リビング ▼	玄関 ▼
	浴室	サニタリー	リビング	玄関

- 部屋タイプを選択すると、部屋名称が表示されます。部屋名称は変更できます。(全角15文字以内)
- 部屋数が多く画面に表示されていないときは、スクロールして表示させてください。
- 各階(地下/1階/2階/3階)ごとに最大10部屋まで設定できます。

4 「機器割付設定へ」をタップする

- 機器は、接続した順で上から順番に表示されます。



簡易間取り設定画面 (機器割付設定)

5 機器割付けの設定を行う

プルダウンメニューから「配置」欄で部屋ID・部屋名称を選択し、各機器を割付けます。

- 機器の割付けを行うと、機器名称が表示されます。機器名称は変更できます。(全角35文字以内)
- 部屋数が多く画面に表示されていないときは、スクロールして表示させてください。

「部屋・タイプ設定へ」をタップすると、「部屋・タイプ設定」画面に戻ります。

6 「全て完了」をタップする

簡易間取りが設定されます。

- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。

お願い！

- お客様がアプリで間取りを編集したり、一括設定の **外出** **無宅** **就寝** **起床** を編集している場合は、簡易間取り設定で「全て完了」をタップすると、設定内容が変更されてしまいます。
お客様に事前に説明し、設定内容をメモするなど、再度設定できるようにしてください。

空気循環連動設定

対応機器がないときは、「空気循環連動設定」の操作は不要です。

空気循環連動に対応するエアコンと送風機の関連付けを行います。

- エアコンの空気を他の部屋に送ることができます。
- エアコンおよびカウンターアローファンを、あらかじめ間取りに設定してください。
(⇒58～60ページ)

1 「空気循環連動設定」をタップする

「空気循環連動設定」画面が表示されます。

- 別画面に遷移する場合は、「全て完了」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。

空気循環連動設定画面

2 「空気循環連動」欄で「ON」を選択する

プルダウンメニューから「ON」を選択します。

空気循環
連動

3 エアコンおよび送風機を選ぶ

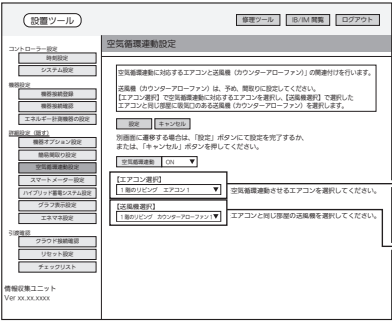
プルダウンメニューから空気循環運動に対応するエアコンを選択し、選択したエアコンと同じ部屋に吸気口のある送風機を選択します。

● **エアコン選択**： なし／エアコンの機器名称

情報収集ユニットに登録されたエアコンの中から選択します。

● **送風機選択**： なし／「部屋名称1」から「部屋名称2」へ

「部屋名称1」は正反転設定が正転の送風機が配置されている部屋名称です。「部屋名称2」は正反転設定が反転の送風機が配置されている部屋名称です。

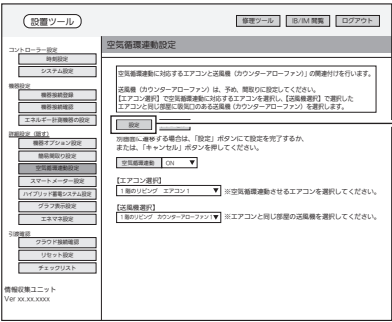


エアコン
選択

送風機
選択

4 「設定」をタップする

空気循環運動が設定されます。



設定

スマートメーター設定

スマートメーター対応USB dongleを接続している場合に設定します。
スマートメーターで計測したデータ(電気の使用量)を30分ごとに確認することができます。

●Bルートサービスの申し込みは、お客様から電力会社に依頼する必要があります。

①Bルート認証を行う

1 「スマートメーター設定」をタップする

「スマートメーター設定」画面が表示されます。

- 「画面再読み込み」ボタンをタップすると、スマートメーター設定を再読み込みします。
- 「スマートメーター対応USB dongleが接続されていません。」と表示される場合は、スマートメーター対応USB dongleの接続を確認してください。

The screenshot shows the 'Smart Meter Setting' screen. On the left is a sidebar with various settings options. The main area contains:

- '画面再読み込み' (Reload Screen) button at the top.
- 'スマートメーター対応 USB Dongleバーション : XXX.XXX.XXX' (Smart Meter compatible USB Dongle version).
- 'Bルート認証 ID' (B-route authentication ID) field with a 4x4 grid of input boxes.
- 'パスワード' (Password) field with a 4x4 grid of input boxes.
- '戻る' (Back) and '設定' (Settings) buttons.
- '接続情報' (Connection Information) section with a table for '接続名' (Connection Name), '接続ID' (Connection ID), '接続タイプ' (Connection Type), '接続先' (Destination), 'IPアドレス' (IP Address), and 'MACアドレス' (MAC Address).
- '電力情報' (Power Information) section with a table for '電圧' (Voltage), '電流' (Current), '電力' (Power), '電圧変動' (Voltage fluctuation), '電流変動' (Current fluctuation), and '電力変動' (Power fluctuation).

画面
再読み込み

スマートメーター設定画面

2 「Bルート認証ID」と「パスワード」を入力する

- 「Bルート認証ID」と「パスワード」は4文字ごとに区切って表示します。

This screenshot is identical to the one above, but with annotations. A bracket on the right side groups the 'Bルート認証 ID' and 'パスワード' input fields, with the text 'Bルート認証 ID' and 'パスワード' written next to it. The input fields are clearly visible as 4x4 grids of boxes.

Bルート
認証 ID
パスワード

3 「認証」ボタンをタップする

Bルート認証を行います。

- 認証完了までに2分程度かかる場合があります。
- 「詳細」ボタンをタップすると、Bルート認証の詳細情報が表示されます。

この画面は「スマートメーター設定」のスクリーンショットです。左側には「設定ツール」のメニューがあり、「認証」ボタンが強調されています。右側の「スマートメーター設定」セクションには、スマートメーター対応 USB Dongleバージョン、BルートID、パスワード、および電力情報（電圧、電流、電力）が表示されています。

②【機器情報】を確認する

1 「取得」ボタンをタップする

接続機器の接続状態が表示されます。

この画面は「スマートメーター設定」のスクリーンショットです。左側には「設定ツール」のメニューがあり、「取得」ボタンが強調されています。右側の「スマートメーター設定」セクションには、スマートメーター対応 USB Dongleバージョン、BルートID、パスワード、および電力情報（電圧、電流、電力）が表示されています。

2 「測定」ボタンをタップする

接続機器の電波強度の測定結果が表示されます。

- 測定結果が「-88」未満の場合は、電波強度が弱い状態です。情報収集ユニットをスマートメーターに近づけてください。

この画面は「スマートメーター設定」のスクリーンショットです。左側には「設定ツール」のメニューがあり、「測定」ボタンが強調されています。右側の「スマートメーター設定」セクションには、スマートメーター対応 USB Dongleバージョン、BルートID、パスワード、および電力情報（電圧、電流、電力）が表示されています。

3 接続機器を再接続する場合 は、「接続」ボタンをタップする

設定ツール 接続ツール 出力/再接続 ログアウト

スマートメーター設定

スマートメーター対応 USB ドングルバージョン: X00.X00.X00

スマートメーター ID: X000 X000 X000 X000

パスワード: X000 X000 X000 X000

接続

【接続情報】

接続名称	接続位置	電力計測器	電力計測器	電力計測器	IP アドレス	MAC アドレス
スマートメーター	1 階	1 階	1 階	1 階	192.168.0.100	AA:BB:CC:DD:EE:FF

【電力情報】

瞬間値 (W)	積算電力正 (kWh)	積算電力負 (kWh)
000	000	000

接続

③【電力情報】を確認する

- 1 「取得」ボタンをタップする
- スマートメーターの「瞬間値(W)」、「積算電力正(kWh)」、「積算電力負(kWh)」の値が表示されます。
- 瞬間値の更新には1分程度かかります。

設定ツール 接続ツール 出力/再接続 ログアウト

スマートメーター設定

スマートメーター対応 USB ドングルバージョン: X00.X00.X00

スマートメーター ID: X000 X000 X000 X000

パスワード: X000 X000 X000 X000

接続

【接続情報】

接続名称	接続位置	電力計測器	電力計測器	電力計測器	IP アドレス	MAC アドレス
スマートメーター	1 階	1 階	1 階	1 階	192.168.0.100	AA:BB:CC:DD:EE:FF

【電力情報】

瞬間値 (W)	積算電力正 (kWh)	積算電力負 (kWh)
000	000	000

取得

瞬間値
積算電力正
積算電力負

ハイブリッド蓄電システム設定

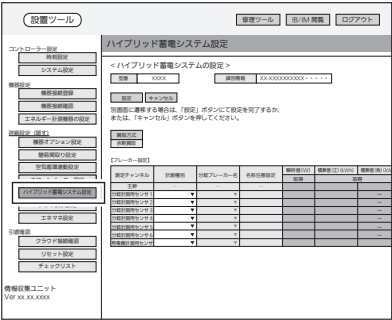
オムロン株式会社のハイブリッド蓄電システムを接続している場合に設定します。

①初期設定

1 「ハイブリッド蓄電システム設定」をタップする

「ハイブリッド蓄電システム設定」画面が表示されます。

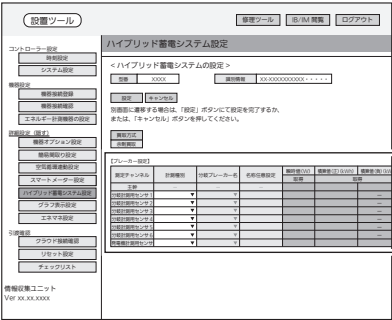
- 別画面に遷移する場合は、「設定」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。



ハイブリッド蓄電システム設定画面

2 【ブレーカー設定】の各項目を設定する

計測チャンネルごとに各項目を設定します。



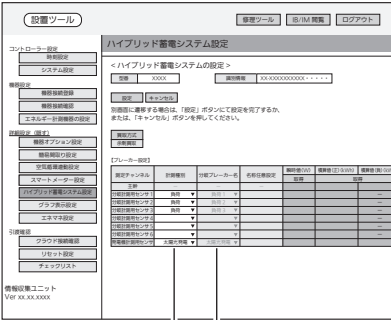
ブレーカー設定

<計測チャンネルの設定方法>

1. 「計測種別」を設定する

設定項目	備考
「負荷」	「分岐計測用センサ1～分岐計測用センサ6」の間で設定してください。
「太陽光発電」	「発電機計測用センサ」で設定してください。
「外部発電機」	

※「主幹」は設定できません。「－」を表示します。
※「太陽光発電」、「外部発電機」を設定したときは、発電時に正の値が表示されます。



計測種別 分岐ブレーカー名

2. 「分岐ブレーカー名」を設定する

設定項目	備考
「負荷」	「負荷○」が自動で選ばれます。
「太陽光発電」	「太陽光発電」が自動で選ばれます。
「外部発電機」	「外部発電機」が自動で選ばれます。

※「主幹」は設定できません。「－」を表示します。

※「任意入力」を選択したときは、「名称任意設定」欄に名称を入力してください。（全角10文字以内）

※「分岐ブレーカー名」は、お客様が使用するアプリの「グラフ表示設定」に使用します。実際の分電盤にラベルがある場合は、「分岐ブレーカー名」をラベルと合わせてください。

※お客様がアプリの「グラフ表示設定」でグラフに表示する名称を変更された場合は、「分岐ブレーカー名」の変更が反映されません。

②動作確認

各計測チャンネルの瞬時値、積算値を確認します。

1 「瞬時値」欄の「取得」ボタンをタップする

各計測チャンネルの瞬時値が表示されます。

- 情報収集ユニットが定周期取得した値を表示します。
- CT設定に関係なく、全計測チャンネルの値を表示します。

取得

2 「積算値」欄の「取得」ボタンをタップする

各計測チャンネルの積算値(正)/(負)が表示されます。

- 情報収集ユニットが定周期取得した値を表示します。
- CT設定に関係なく、全計測チャンネルの値を表示します。

取得

グラフ表示設定

お客様が使用するアプリのエネマネグラフの設定状況を確認します。

- 1 「グラフ表示設定」をタップする
「グラフ表示設定」画面が表示されます。

グラフ表示設定画面

- 2 グラフ表示をしない機器の
チェックボックスを□にする

チェック
ボックス

- 3 「設定」をタップする
グラフ表示の設定が有効になります。
● グラフ表示設定は、お客様が使用するアプリのエネマネ表示に反映されます。

設定

- チェックボックスを□にした機器は、お客様が使用するアプリでは以下のように表示されます。



チェックボックスを□にした機器

＜グラフ表示設定の例＞

エネマネ設定

主幹の積算電力量・瞬時電力の取得先を選択します。

太陽光発電、蓄電池、および外部発電機の電力取得先を重複がないように選択します。

1 「エネマネ設定」をタップする

「エネマネ設定」画面が表示されます。

エネマネ設定画面

2 測定に使用する機器を選択する

- 接続されている機器が表示されていることを確認してください。

1.【主幹(積算値)の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、いずれか1つを選択してください。
「自動」を選択した場合は、以下の優先度(上から優先度高)で選択されます。

優先度	機器
1	スマートメーター
2	太陽光発電システム
3	ハイブリッド蓄電システム
4	エネルギー計測ユニットまたはホーム分電盤
5	EV用パワコン

2.【主幹(瞬時値)の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、いずれか1つを選択してください。
「自動」を選択した場合は、以下の優先度(上から優先度高)で選択されます。

優先度	機器
1	EV用パワコン
2	太陽光発電システム
3	ハイブリッド蓄電システム
4	エネルギー計測ユニットまたはホーム分電盤
5	スマートメーター

3.【太陽光発電の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を選択してください。

4.【蓄電池の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を選択してください。

5.【外部発電機の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を選択してください。

3 「設定」ボタンをタップする

主幹の積算電力量・瞬時電力の取得先が設定されます。

設定

引渡確認

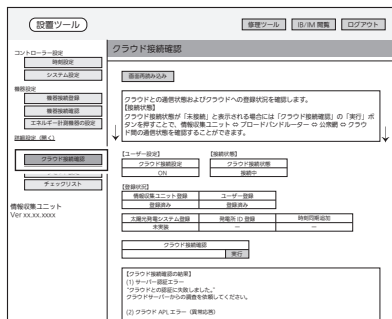
クラウド接続確認

クラウドへの登録状況および通信状態を確認します。

1 「クラウド接続確認」をタップする

「クラウド接続確認」画面が表示されます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合は、クラウド接続確認の「実行」をタップしてください。クラウドとの通信状態を確認することができます。



クラウド接続確認画面

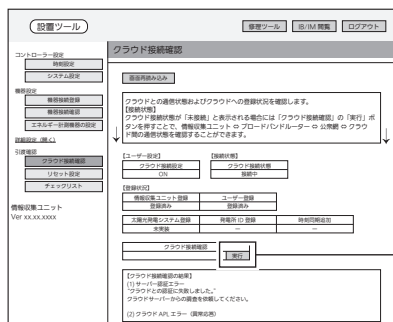
	項目	内容
ユーザー設定	クラウド接続設定	ON/OFF
接続状態	クラウド接続状態	接続中/未接続(※1)
登録状況	情報収集ユニット登録	登録済み/未登録(※1)
	ユーザー登録	登録済み/未登録(※1)
	太陽光発電システム登録	未実装/登録/未登録
	発電所ID登録	—/登録/未登録
	時刻同期	—/同期/非同期

※1： 情報収集ユニットとクラウドとを接続し、お客様のタブレットでユーザー登録を完了すると、「クラウド接続状態」は「接続中」、「情報収集ユニット登録」と「ユーザー登録」は「登録済み」となります。

2 「実行」をタップする

クラウドとの通信状態を確認することができます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合に行うとクラウドとの通信状態を確認できます。



実行

項目	内容
クラウド接続確認	クラウド接続は正常に動作しています。(※2)

※2： 接続エラーになった場合の表示(→79ページ)

リセット設定

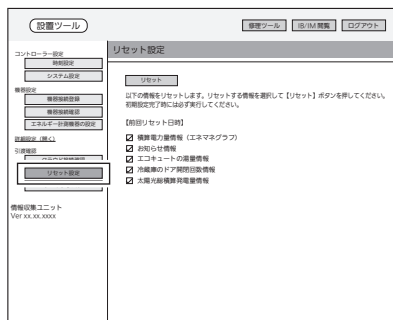
お客様へ引き渡す前に設置工事で積算された電力量とお知らせをリセットします。

● 次の情報がリセットされます。

積算電力量/お知らせ/エコキュートの湯量/冷蔵庫のドア開閉回数/太陽光総積算発電量

1 「リセット設定」をタップする

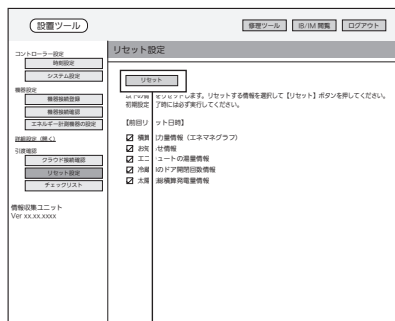
「リセット設定」画面が表示されます。



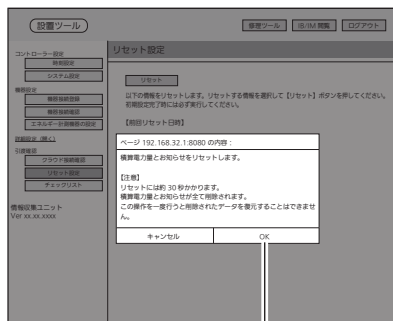
リセット設定画面

2 リセットする情報のチェックボックスにチェックを入れて、「リセット」をタップする

確認メッセージが表示されますので、「OK」をタップします。



リセット



OK

チェックリスト

設置ツールの各設定の設定状況および更新日時、異常機器の有無を確認します。

1 「チェックリスト」をタップする

「チェックリスト」画面が表示されます。

以下の設定項目については、設定項目および更新日時が最新の状態になっているかどうかをご確認ください。

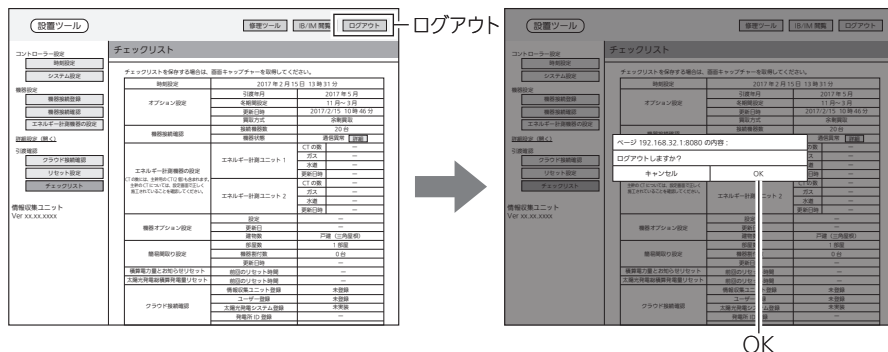
設定項目	確認事項	参照ページ
時刻設定	設定された時刻	28
システム設定	引渡年月 冬期間設定 更新日時 買取方式	30
機器接続確認	接続機器数 機器状態	38
エネルギー計測機器の設定	各エネルギー計測ユニットの設定内容 ・CTの数 ・ガス、水道の設定項目 ・更新日時	41
機器オプション設定	設定 更新日時	56
簡易間取り設定	建築物 部屋数 機器割付数 更新日時	58
リセット設定	前回のリセット日時	73
クラウド接続確認	情報収集ユニット登録 ユーザー登録 太陽光発電システム登録 発電所ID 時刻同期	72

設定項目
機器異常一覧
結果
「詳細」ボタン
チェックリスト画面

- 「機器状態」が機器異常または通信異常の場合、「詳細」ボタンが表示されます。「詳細」ボタンをタップすると「機器異常一覧」が表示されます。

「機器異常一覧」には、機器異常または通信異常の機器が表示されます。異常のあった機器については、正しく接続されているかご確認ください。

2 「ログアウト」をタップしてログアウトしてから、ブラウザの画面を閉じる 「OK」をタップすると、ログアウトします。



据付後の確認

□の中に✓印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

□ 据付後にタブレット端末またはパソコンと情報収集ユニットのWi-Fi接続を切断しましたか？

※お客様の情報収集ユニットに接続できなくなることを確認してください。

□ お客様への説明

- ・別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様にご説明してください。
- ・製品に同梱している保証書も必ずお客様へお渡しください。

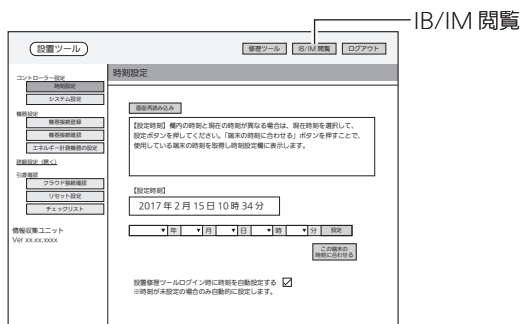
■ 技術マニュアルをWebで見る

機器の設置方法や機器との接続方法が記載された技術マニュアルを「WIN²K」で見ることができます。

● 情報収集ユニットがインターネットに接続されていないときは、見られません。

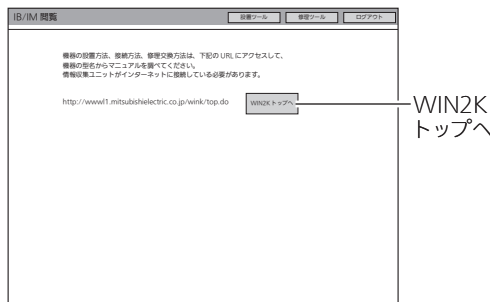
1 「IB/IM閲覧」をタップする

「IB/IM閲覧」画面が表示されます。



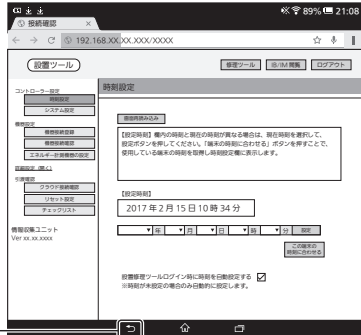
2 「WIN2Kトップへ」をタップする

ブラウザが起動して「WIN²K」に接続します。



こんなときは

症状	原因・処置
タブレット端末またはパソコンを操作できない	①タブレット端末またはパソコンの電源を入れ直してください。
タブレット端末またはパソコンの電源がすぐに切れる	①十分に充電してありますか？ 十分に充電してから使用してください。
設置ツールのログイン画面が開かない	①URLが正しく入力されていますか？ URLを正しく入力してください。(→26ページ) ②IPアドレスが取得できていますか？ IPアドレスが192.168.32.100以降に割り当てられているか確認してください。 ③プロキシ設定がOFFになっていますか？ http://192.168.32.1:8080/set/login にアクセスできる設定か確認してください。 ④情報収集ユニットの電源が入っていますか？ 情報収集ユニットの電源が入っているか確認してください。 ※①～④の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(→28ページ) ※②、③について、詳しくは「パソコン接続設定」をご覧ください。(→81ページ)
ログインできない	①ログインID・パスワードは正しく入力されていますか？ 半角英数字または記号(英字は大文字／小文字)が正しいか確認し、再度入力してください。(→26ページ)
情報収集ユニットの電源を入れ直しても、機器を認識しない	①各機器を認識するまでに20分程度かかる場合があります。
情報収集ユニットの回線状況ランプが赤点灯になる	①ネットワークでループ障害が発生している可能性があります。 情報収集ユニットのWAN/LANポートの配線をご確認ください。 配線を直した場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してください。

症状	原因・処置
画面の表示が切り替わらない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p> <p>②通信が混み合っています。 タブレット端末の戻るボタン(🏠)をタップしてから、もう一度確認してください。</p>  <p>※①の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(➡28ページ)</p>
移設後や屋内配置変更後に通信が途切れる、または通信できない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p>
タブレット端末と情報収集ユニットの据付予定場所での電波が弱い(アンテナマークの本数が少ない)	<p>①電波強度が弱い場合は、据付予定場所を変更してから、もう一度アンテナマークを確認してください。</p> <p>②距離が離れすぎではありませんか？ タブレット端末と情報収集ユニットの間に障害物が存在していませんか？ 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p>
WPSを行ったあと、無線LANアダプターのランプ1が消灯している	<p>①無線アダプタが正しく接続されていない場合があります。 無線LANアダプターのRESETボタンを2秒ほど押して再起動し、再度、機器の接続/登録を行ってください。 (➡32～37ページ)</p>

症状	原因・処置
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】に登録した機器が表示されない	<p>①登録した機器が表示されるまでに1分半程度かかることがあります。 しばらく時間を置いてから、「取得」ボタンをタップしてください。 (→36～37ページ)</p>
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】の「動作状態」欄に「通信異常」と表示される。	<p>①RSSIの数値が正常な値ですか？ 無線LAN接続機器については、「機器接続確認」でRSSI/PERの測定を行い、RSSIの数値が緑色(－75dBm以上)であることを確認してください。(→38～39ページ)</p> <p>②情報収集ユニットとの通信ができていますか？ 有線LAN接続機器については、機器の有線LANアダプターと情報収集ユニットを接続しているLANケーブルに抜けや異常が無いか確認してください。</p>
<p>「エネルギー計測機器の設定」画面で以下の現象が発生する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電力消費量の数値がおかしい ●発電電力量がゼロから変化しない 	<p>①エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)が正しく取り付けられていますか？ エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、CTのクランプがしっかりとロックされているか確認してください。</p> <p>②エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)の取付位置や極性が間違っていないですか？ エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、正しい位置・極性になっているか確認してください。</p> <p>③エネルギー計測ユニットと情報収集ユニットとの通信ができていますか？ 通信ができていないときは、電力の瞬時値が変化しません。</p>
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される</p> <p>「クラウドとの認証に失敗しました。」</p> <p>「クラウドから異常応答が返ってきました。」</p> <p>「クラウド・公衆網の間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①情報収集ユニットの日付・時刻が正しく設定されていますか？ 正しい日付・時刻を設定してください。(→28ページ)</p> <p>②クラウドのメンテナンスが行われている場合があります。 症状発生時刻のクラウドメンテナンス情報を確認してください。</p> <p>③時間を置いて症状が改善されない場合には、クラウドサーバーからの調査を依頼してください。</p>

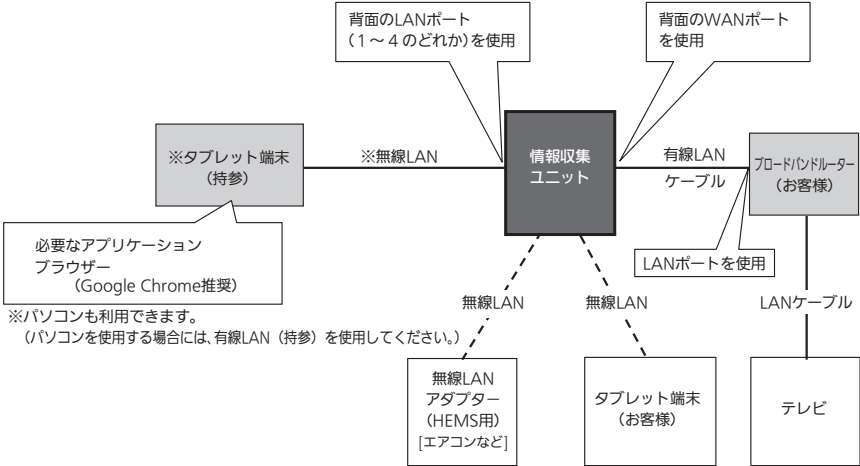
症状	原因・処置
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「ブロードバンドルーターと公衆網間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①インターネットに接続できるよう、ネットワーク事業者との契約がされていますか？</p> <p>②ブロードバンドルーターとインターネットが正しく接続されていますか？ ブロードバンドルーターとインターネットが接続されていることと、ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p> <p>③症状が改善されない場合には、ネットワーク事業者に調査を依頼してください。</p>
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「情報収集ユニットとブロードバンドルーター間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①情報収集ユニットとブロードバンドルーターとは正しく接続されていますか？ 情報収集ユニットとブロードバンドルーターとが接続されていることを確認してください。 ブロードバンドルーターと接続しているLANケーブルが情報収集ユニットのLANポートに接続されていた場合は、WANポートに接続してください。</p> <p>②DHCPサーバーは起動されていますか？ ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p>
<p>WIN2Kを見ることができない</p>	<p>①「ポップアップブロックを有効にする」のチェックは、はずれていますか？ 「ポップアップブロックを有効にする」のチェックがはずれていることを確認してください。（→91、95ページ）</p>

パソコン接続設定

■ 接続の基本構成図

下図のようにタブレット端末またはパソコン(持参品)と情報収集ユニットをLANケーブル(持参品)で接続する。

- ブラウザーでIEを使用する場合は、キャッシュにより最新の情報が表示されない場合があります。
この場合は、【キャッシュの削除方法(Internet Explorer ブラウザー編)】をご覧ください
- ブロードバンドルーターは、DHCPで情報収集ユニットに対してIPアドレスの払い出しができる設定が必要です。



■ 推奨動作環境(2017年5月時点)

項目	推奨
ブラウザ	Google Chrome
ブラウザのページズーム	Windows Internet Explorer 11
ブラウザのページズーム	100%
ブラウザのフォントサイズ	中
ブラウザのプロキシ設定	解除
端末(※iOSタブレットは対象外)	タブレット端末またはパソコン(持参)
ポップアップのブロック (Chromeブラウザ)IEブラウザ	ポップアップ表示を許可する


※ 1台の情報収集ユニットにアクセスできる修理ツールの端末は、1台(お客様端末含め複数台接続は保証外)。

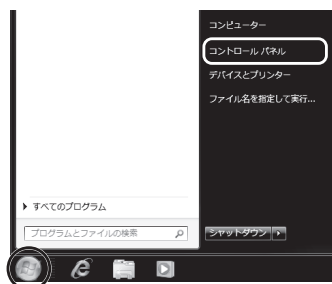
■ パソコンのネットワーク設定の確認

IPアドレスが自動で取得できる設定になっているか確認します。

● Windows 7の場合を例に説明します。

<情報収集ユニットに接続し設定を確認する>

- 1 情報収集ユニットの電源を入れる
- 2 情報収集ユニットのLANポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続する
- 3 「スタート()」から「コントロールパネル」をクリックする



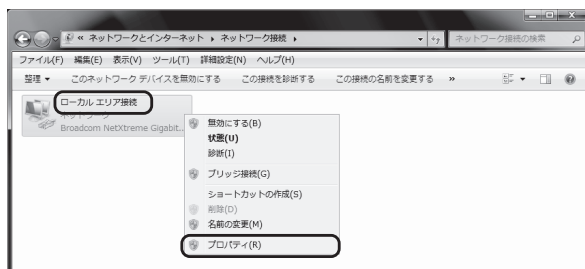
- 4 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



5 「アダプターの設定の変更」をクリックする

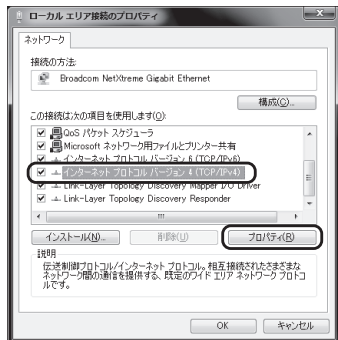


6 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

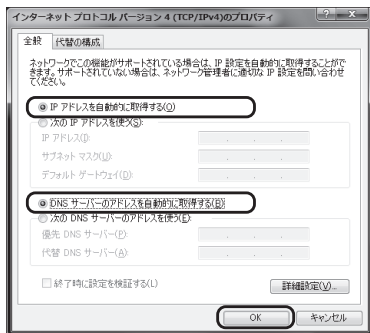


- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

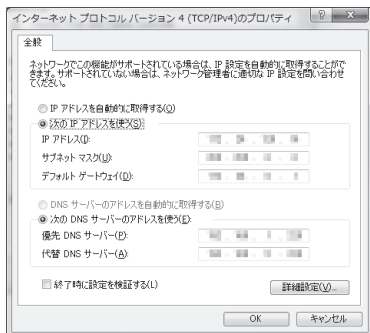
7 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする



8 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックする



- IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに値が入っているときに「IPアドレスを自動的に取得する」を選択すると値が消えます。
以前の環境に戻す際に必要ですので、選択する前にメモを取っておいてください。

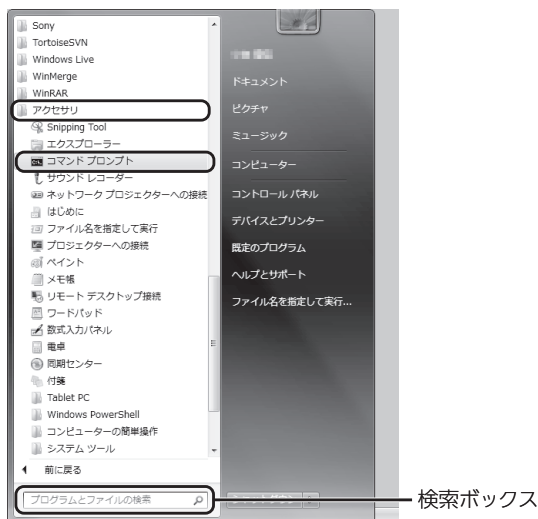


■ パソコンのIP アドレスの確認

パソコンにIPアドレスが割り振られていることを確認します。

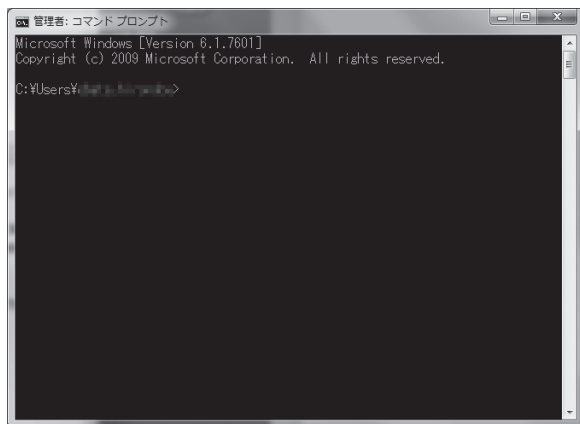
● Windows 7の場合を例に説明します。

1 「スタート(■)」から「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリックする

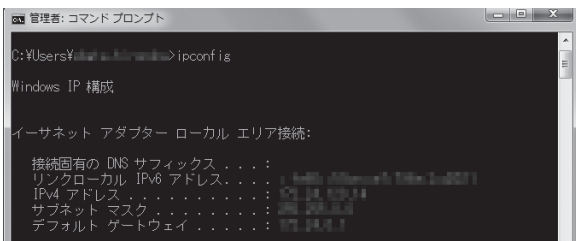


● コマンドプロンプト画面は、検索ボックスに「cmd」と入力してEnterキーを押す方法でも表示できます。

2 コマンドプロンプト画面で「ipconfig」と入力し、Enterキーを押す



3 IPアドレスが割り振られていることを確認する。



C:¥>ipconfig ←C:¥Users¥ユーザー名> ipconfig の場合もある

Windows IP 構成

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス :
リンクローカル IPv6 アドレス : fe80::cdfd:36ef:253b:8014%11
IPv4 アドレス : 192.168.32.100 ←
サブネット マスク : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ : 192.168.32.1

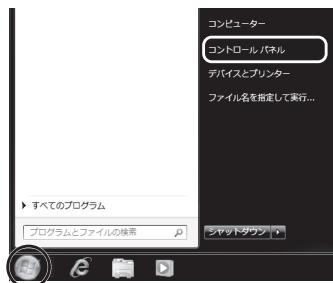
確認 (末尾 100 以外の場合もある。例: 102 など)

■ ブラウザーのプロキシ設定の確認

ブラウザーのプロキシ設定が解除されていることを確認します。

● Windows 7の場合を例に説明します。

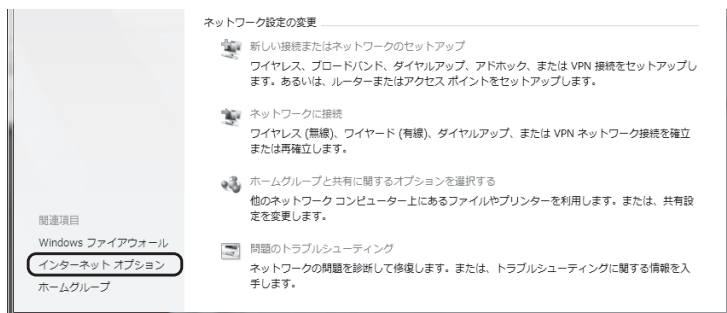
1 「スタート()」から「コントロールパネル」をクリックする



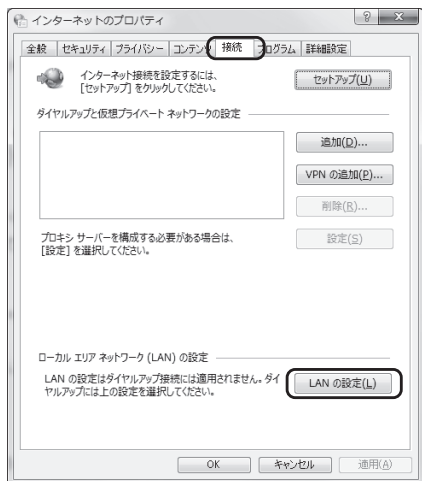
2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



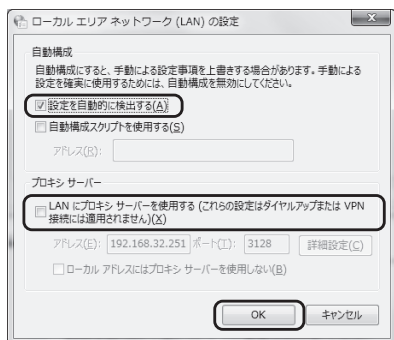
3 「インターネットオプション」をクリックする



4 「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックし、「LANの設定」をクリックする



5 「自動構成」の「設定を自動的に検出する」をチェックし、「プロキシサーバー」のチェックをはずし、「OK」をクリックする



■ ブラウザー別設定確認

推奨ブラウザである「Google Chrome」と「Internet Explorer」の設定について説明します。

<Google Chrome>

①画面の倍率、文字サイズの設定確認

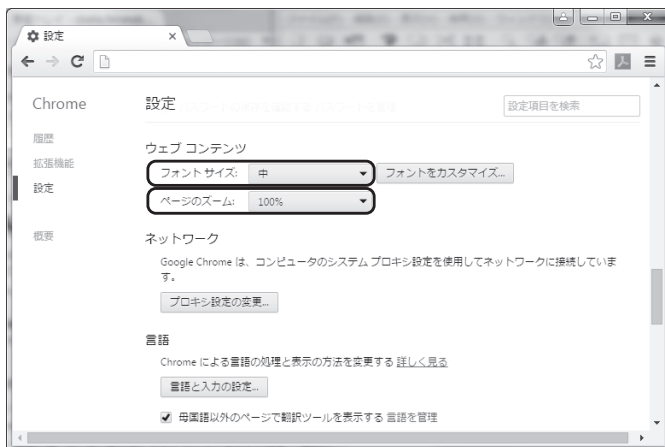
1 Google Chromeブラウザを起動し、右上のメニューボタンをクリックし、「設定」をクリックする



2 「設定」をクリックし、画面下の「詳細設定を表示...」をクリックする

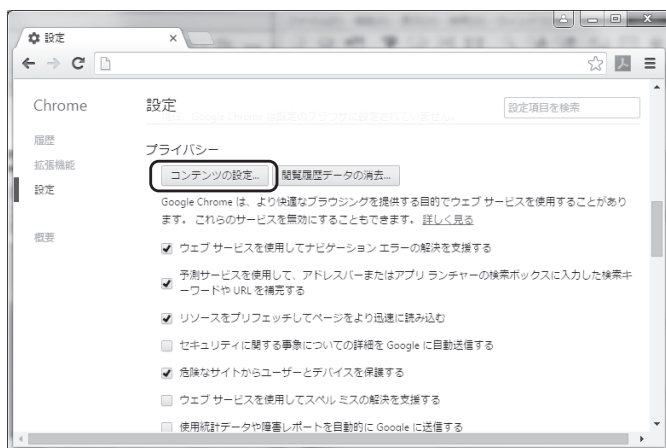


3 「ウェブコンテンツ」で「フォントサイズ」が「中」、「ページのズーム」が「100%」になっていることを確認する

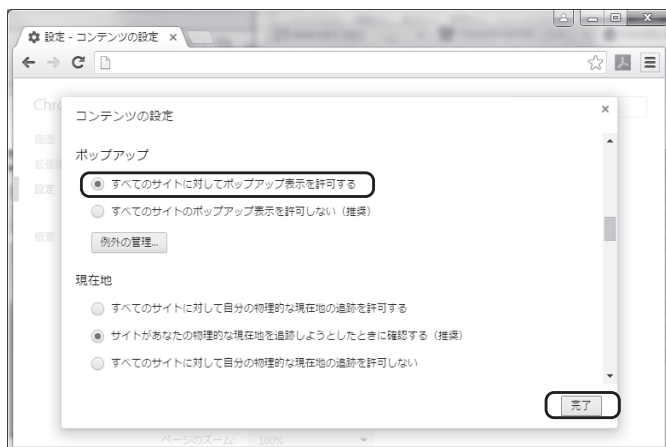


②ポップアップ表示の許可

1 ①の操作3の画面で「コンテンツの設定」をクリックする



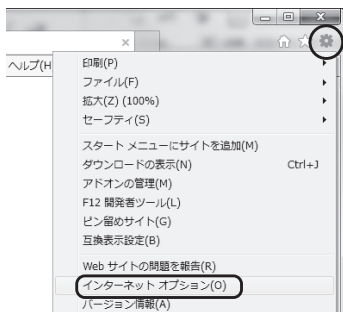
2 「ポップアップ」で「すべてのサイトに対してポップアップ表示を許可する」を選択し、「完了」をクリックする



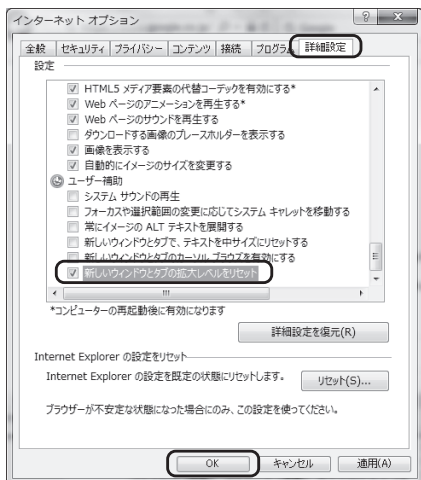
<Internet Explorer>

①画面の倍率、文字サイズの設定確認

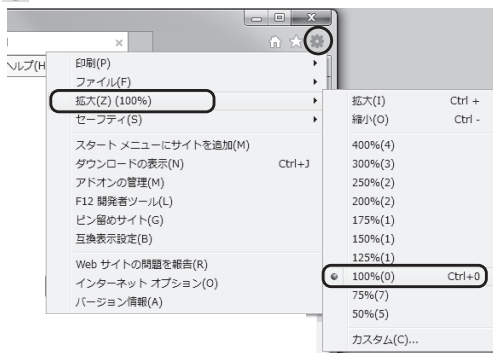
1 Internet Explorerを起動し、 をクリックして「インターネットオプション」をクリックする



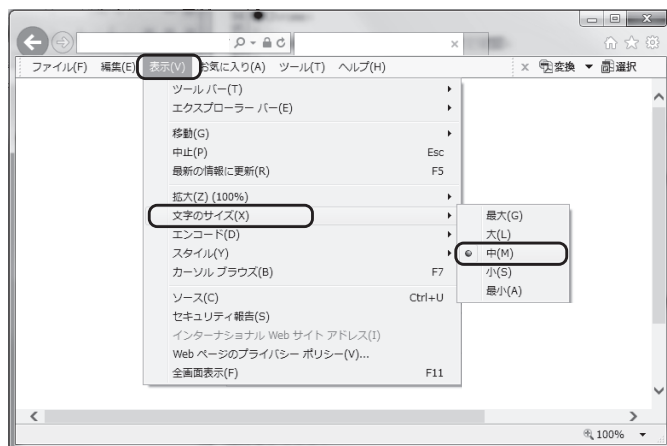
2 「詳細設定」タブをクリックし、「ユーザー補助」の「新しいウィンドウとタブの拡大レベルをリセット」をチェックし、「OK」をクリックする



-  をクリックして「拡大」で「100%」を選択する方法もあります。

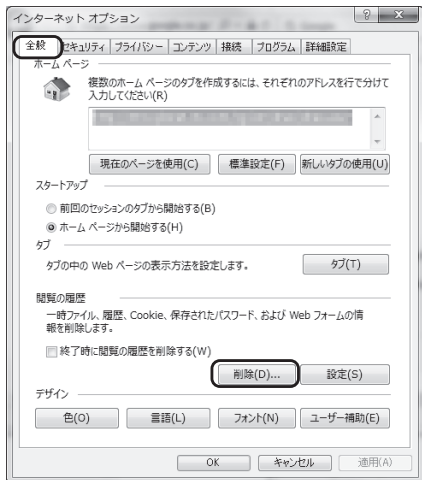


3 メニューバーの「表示」-「文字のサイズ」をクリックし、「中」を選択する

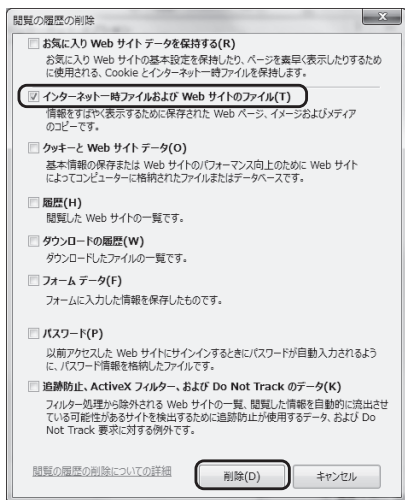


②キャッシュの削除方法

1 ①の操作2で「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」の「削除」をクリックする



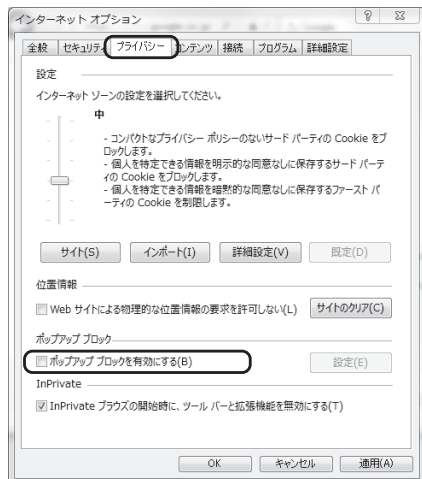
2 「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」だけをチェックし、「削除」をクリックする



- 通常は数分で終わりますが、キャッシュ量が多かったり、フラグメンテーションが大量に発生している場合だと、1時間程度かかることがあります。

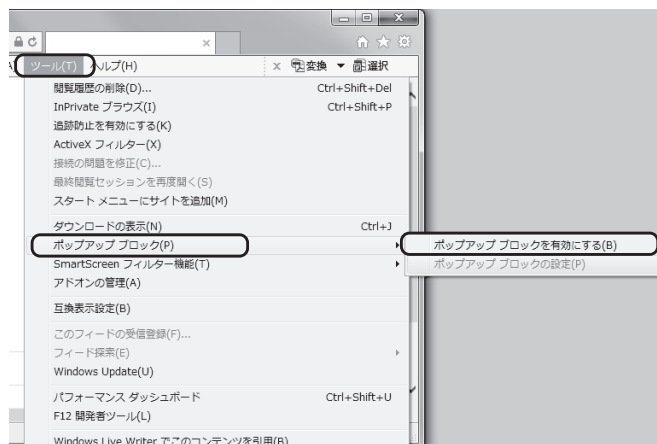
③ポップアップブロックの無効化

1 ①の操作2で「プライバシー」タブをクリックし、「ポップアップブロックを有効にする」のチェックをはずす



以下の方法でも設定できます。

メニューバーの「ツール」-「ポップアップブロック」をクリックし、「ポップアップブロックを有効にする」のチェックをはずす



- 上記の操作を行ってもポップアップブロックが無効にならない場合、ほかのアプリ（「Googleツールバー」など）のポップアップブロックが有効になっている可能性があります。
- ポップアップをブロックする機能をもつアプリを使用している場合は、アプリの設定をご確認ください。

仕様

電力データ仕様

- 積算電力量データ取得間隔：30分周期
- 積算電力量データ保存期間：
 - 時間単位 . . . 63日分
 - 日単位 . . . 24か月分
 - 月単位 . . . 20年分

情報収集ユニットー各機器間通信仕様

- ECHONET Lite(エコーネットライト)規格準拠

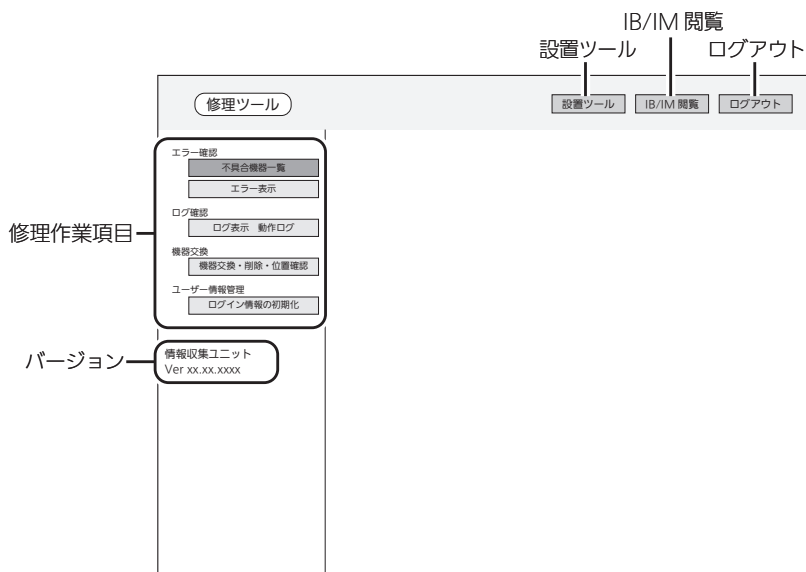
修理ツール

ログイン

修理ツール画面を表示させるには、設置ツールにログインし、画面上部の「修理ツール」をタップします。

- 設置ツールのログイン方法(→26ページ)

■ 修理ツール画面の見かた



- **修理作業項目**
修理作業で使用する項目が表示されます。
- **「設置ツール」ボタン**
設置時に使用します。
- **「IB/IM閲覧」ボタン**
取扱説明書/据付工事説明書を閲覧する画面が表示されます。
ブラウザの設定で“ポップアップウィンドウを許可”にしてください。(→91、95ページ)
- **「ログアウト」ボタン**
ログアウトすると、ログイン画面に戻ります。
- **バージョン**
情報収集ユニットのバージョンを表示しています。

不具合機器一覧

不具合が発生している機器の一覧が表示されます。

1 「不具合機器一覧」をタップする

「不具合機器一覧」画面が表示されます。

- 各機器の以下の項目を確認することができます。
機器、動作状態、電波強度測定、バージョン、エラーコード、IPアドレス、MACアドレス

ID	機器名	動作状態	電波強度測定値	バージョン	エラーコード	IPアドレス	MAC
1	無線LAN接続ユニット	正常	良好	01		192.168.0.100	AA-AA-AA-AA-AA-AA
2	無線LAN接続ユニット	異常	不良	01		192.168.0.101	BB-BB-BB-BB-BB-BB
3	無線LAN接続ユニット	異常	不良	01		192.168.0.102	CC-CC-CC-CC-CC-CC

不具合機器一覧画面

2 30秒経過後、「画面再読み込み」をタップする

情報収集ユニット内に保存されている情報を再表示します。（各機器との通信は行っていません。）

ID	機器名	動作状態	電波強度測定値	バージョン	エラーコード	IPアドレス	MAC
1	無線LAN接続ユニット	正常	良好	01		192.168.0.100	AA-AA-AA-AA-AA-AA
2	無線LAN接続ユニット	異常	不良	01		192.168.0.101	BB-BB-BB-BB-BB-BB
3	無線LAN接続ユニット	異常	不良	01		192.168.0.102	CC-CC-CC-CC-CC-CC

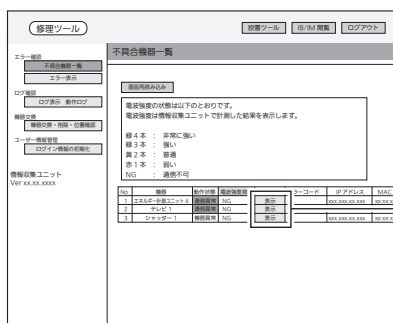
画面再読み込み

項目	説明														
機器	設置ツールやユーザーで設定した機器の名称(例：エアコン1)														
動作状態	各機器の動作状態(正常/通信異常/機器異常 のいずれか)が表示されます。														
電波強度測定	測定結果が下表のように表示されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定結果</th><th>表示 (色)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に強い</td><td>■■■■■ (緑色)</td></tr> <tr> <td>強い</td><td>■■■■ (緑色)</td></tr> <tr> <td>普通</td><td>■■■ (黄色)</td></tr> <tr> <td>弱い</td><td>■■ (赤色)</td></tr> <tr> <td>通信不可</td><td>NG</td></tr> <tr> <td>有線LAN機器、 または接続不可状態 の無線機器</td><td>— —</td></tr> </tbody> </table>	測定結果	表示 (色)	非常に強い	■■■■■ (緑色)	強い	■■■■ (緑色)	普通	■■■ (黄色)	弱い	■■ (赤色)	通信不可	NG	有線LAN機器、 または接続不可状態 の無線機器	— —
測定結果	表示 (色)														
非常に強い	■■■■■ (緑色)														
強い	■■■■ (緑色)														
普通	■■■ (黄色)														
弱い	■■ (赤色)														
通信不可	NG														
有線LAN機器、 または接続不可状態 の無線機器	— —														
バージョン	「表示」ボタンを押すと、別画面で機器情報が表示されます。														
エラーコード	現在発生している機器のエラーコードが表示されます。 ※ECHONETでエラーコードを取得できる機器のみ表示されます。														
IPアドレス	各機器に割り当てられたIPアドレスが自動で表示されます。 ※WPS接続で割付けられた機器AのIPアドレスにおいて、その機器と情報収集ユニット間で通信異常が発生している間に、新たな機器BをWPS接続した際、機器Aにもともと割付けられていたIPアドレスが機器Bに割付けられた場合には、機器AのIPアドレスの表示は「未確定」と表示されます。 その後、機器Aと情報収集ユニット間の通信異常が解消できた場合、機器Aには、新しいIPアドレスが割付けられ、IPアドレスの表示は「未確定」ではなく、新しく割付けられたIPアドレスが表示されます。														
MACアドレス	各無線LANアダプターおよびテレビのMACアドレスが自動で表示されます。														

3 「表示」をタップする

各機器のバージョン情報(機器情報)の別画面が表示されます。

- 無線LAN機器と有線LAN機器では表示される内容が異なります。詳細は次ページを参照してください。



表示

①無線LAN接続機器の場合

「表示」を押すと、以下の機器情報が表示されます。

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報	
192.168.32.101/unitinfo	
機器情報	
型名	HM-WF002
M16C Ver	01.00
GS1500M Ver	01.00
製造番号	1402260057
製造年月日	2014/02/26
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
RSSI	-44
IT通信状態	正常
接続機器名称	エコキュート
接続機器型名	P37U
接続機器	09.05
製造番号	-
製造年月日	0000/00/00
画面更新	

画面更新

1 表示内容を確認する

2 30秒経過後、「画面更新」をタップする

- タップごとに、最新状態が表示されます。
- 主にRSSIとIT通信状態の変化を確認します。

項目	説明
URL	タップした機器の無線LAN アダプターのURL。それぞれ以下の通りです。 ● 無線LAN アダプター接続機器(エアコンなど) URL : http : //(IP アドレス)/unitinfo ● 情報収集ユニット URL : http : //192.168.32.1
型名	無線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
M16C Ver	
GS1500M Ver	
製造番号	
製造年月日	
MACアドレス	Received Signal Strength Indicator (無線LANアダプターが)受信した電波の強度を示す指標。
RSSI	
IT通信状態	無線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではエコキュート)のソフトウェアバージョン
製造番号	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

3 画面右上の「X」をタップして閉じる

②有線LAN接続機器の場合

「表示」を押すと、以下の機器情報が表示されます。

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報	
192.168.32.101/unitinfo	
機器情報	
型名	HM-E102
RX63N	1.00
製造年月日	2014/09/08
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
IT通信状態	正常
接続機器名称	スマート環気システム ※
接続機器型名	HM-01C-D
接続機器	01.04
製造番号	
製造年月日	-
画面更新	

※ダクト用換気扇、レンジフードファン、
カウンターアローファン、ロスナイセントラル換気システム
⇒「スマート環気システム」と表示されます。

※バス乾燥・暖房・換気システム ⇒「バス乾」と表示されます。

画面更新

1 表示内容を確認する

2 30秒経過後、「画面更新」をタップする

- タップごとに、最新状態が表示されます。
- 主にIT通信状態の変化を確認します。

項目	説明
URL	タップした機器の有線LANアダプターのURL。それぞれ以下の通りです。 ● 有線LAN アダプター接続機器(スマート環気システムなど) URL : http : //(IPアドレス)/unitinfo ● 情報収集ユニット URL : http : //192.168.32.1
型名	有線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
RX63N Ver	
製造番号	
製造年月日	
MACアドレス	
IT通信状態	有線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではスマート環気システム)のソフトウェアバージョン
製造番号	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

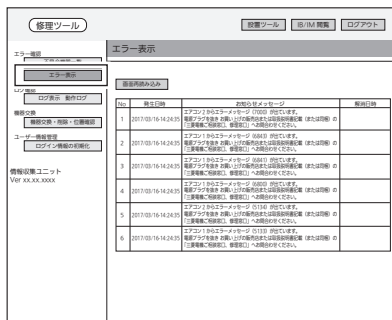
3 画面右上の「X」をタップして閉じる

エラー表示

不具合機器一覧の機器異常のエラー内容を確認できます。

1 「エラー表示」をタップする

「エラー表示」画面が表示されます。

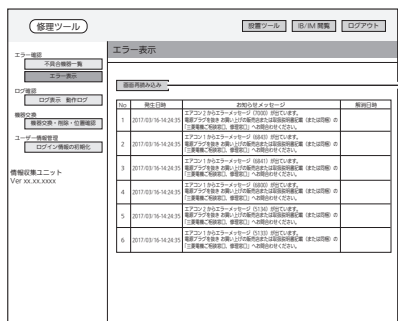


エラー表示画面

2 30秒経過後、「画面再読み込み」をタップする

情報収集ユニット内に保存されている情報を再表示します。

(情報収集ユニットから再度データを読み込むだけで、情報収集ユニットと機器との通信は行っていません。)

画面
再読み込み

ログ表示 動作ログ

情報収集ユニットの動作が確認できるログが表示されます。

- 1ヶ月以上の動作ログを確認できます。

1 「ログ表示 動作ログ」をタップする

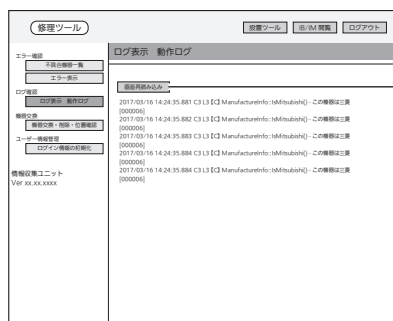
「ログ表示 動作ログ」画面が表示されます



ログ表示 動作ログ画面

2 30秒経過後、「画面再読み込み」をタップする

情報収集ユニット内に保存されているログを表示します。
(機器との通信は行っていません。)



画面
再読み込み

3 ログを確認する

- 情報収集ユニット内部のエラー状態や処理経路を確認できるログを表示します。

■ 機器を交換する場合

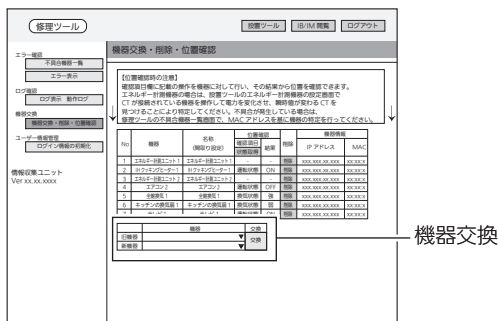
機器を交換したあと、無線LANアダプターまたはLANケーブルで情報収集ユニットと機器を接続し、新しい機器を登録してから、以下の操作を行ってください。

●「機器の接続方法」(⇒18～19、25、32～36ページ)

1 交換前後の機器を選択し、「交換」をタップする

交換前後の機器をプルダウンメニューから選択します。

- 「旧機器」から「新機器」へ管理データを引き継いだあと、「旧機器」の管理データを消去します。
- 「旧機器」と「新機器」で、機器の種類が異なるときや、同一の機器のときは交換できません。
- 「旧機器」が運転中のときは交換できません。



おしらせ

- 誤って機器を交換した場合、過去のデータが消去されます。誤って交換して消してしまった機器を再登録するには機器を追加の設定が必要になりますので、ご注意ください。
- アプリの機能である一括設定の中で **外出** **帰宅** **就寝** **起床** の項目は、機器の追加・登録・削除および間取りの編集をすることで設定内容が変更されます。すでにお客様が一括設定の編集を行っている可能性がある場合は、お客様の設定内容をメモするなど、再度設定できるようにしてください。
- エネルギー計測ユニットを交換した場合は、「エネルギー計測機器の設定」画面内で設定された項目を確認し、「新機器」に再設定するため、「設定」をタップしてください。
- ワイヤレス通信機およびワイヤレス通信機に登録されている電動窓シャッターは、機器交換(データ引き継ぎ)には対応していません。新しいワイヤレス通信機が接続された場合には、間取りへの配置、電動窓シャッター名称などのデータはリセットされます。

■ 機器を削除する場合

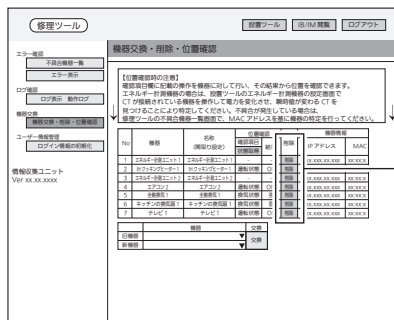
以下の作業を行ってから、機器を削除します。

- 削除する機器の専用ブレーカーを切るか、電源プラグを抜く
- 無線LANアダプター、制御アダプター、LANケーブルを機器からはずす

1 「削除」をタップする

確認メッセージが表示されるので、「OK」をタップします。

- 運転中の機器は削除できません。



おしらせ

- 誤って機器を削除した場合、過去のデータが消去されます。誤って削除して消してしまった機器を再登録するには機器を追加する設定が必要になりますので、ご注意ください。
- アプリの機能である一括設定の中で「外出」「帰宅」「就寝」「起床」の項目は、機器の追加・登録・削除および間取りの編集をすることで設定内容が変更されます。すでにお客様が一括設定の編集を行っている可能性がある場合は、お客様の設定内容をメモするなど、再度設定できるようにしてください。
- 電動窓シャッターを削除すると、ワイヤレス通信機が削除されます。その際、ワイヤレス通信機につながっている電動窓シャッターは全て削除されます。

■ 機器の位置確認をする場合

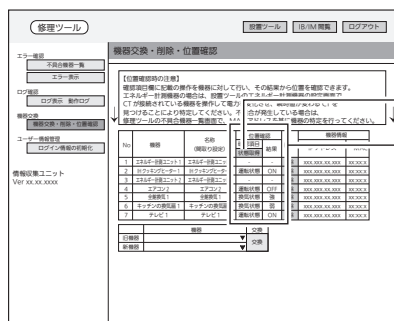
機器の本体またはリモコンで操作することで変化する状態を見て、どの部屋で使われている機器かを確認できます。

1 「位置確認」欄から各機器の現在の動作状態を確認する

- 次ページの<位置確認>に表示される項目>でご確認ください。

2 確認する機器を動作させる

次ページの<位置確認>に表示される項目>に記載されている「確認項目」の操作を行ってください。



3 「状態取得」をタップして、「結果」欄の動作状態が変化する機器を確認する

<位置確認に表示される項目>

簡易間取り設定「機器割付けの設定」の<位置確認>に表示される項目 (○)				
※詳しくは、59ページをご覧ください。				
「機器交換・削除・位置確認」の<位置確認>に表示される項目 (●)				
	名称	確認項目	結果	備考
○ ●	エアコン	運転状態	ON/OFF	ルームエアコン
○ ●	ハウジングエアコン	運転状態	ON/OFF	
○ ●	エコキュート(給湯)(※1)	給湯温度	XX℃	
○ ●	エコキュート(風呂)(※1、3)	温度	XX℃	
○ ●	IHクッキングヒーター	運転状態	ON/OFF	
○ ●	冷蔵庫	ドア状態	開/閉	
○ ●	全館換気	換気状態	風量	エアフロー環気システム
○ ●	浴室換気(※3)	換気状態	モード	
○ ●	エコヌクール本体(※2)	運転状態	ON/OFF	
○ ●	床暖房リモコン(エコヌクール)(※2、3)	運転状態	ON/OFF	
○ ●	テレビ	運転状態	ON/OFF	
○ ●	エネルギー計測ユニット	—	—	
○ ●	ホーム分電盤	—	—	
○ ●	EV用パワコン	—	—	EV用パワーコンディショナ
○ ●	キッチンの換気扇	換気状態	風量	レンジフードファン
○ ●	換気扇	換気状態	風量	ダクト用換気扇
○ ●	送風機	換気状態	風量	カウンターアローファン
○ ●	全館換気ロスナイ	換気状態	風量	ロスナイセントラル換気システム
○ ●	浴室暖房乾燥機	運転状態	ON/OFF	バス乾燥・暖房・換気システム
○ ●	エアリゾート・センターコントローラー	運転状態	ON/OFF	
○ ●	エアリゾート・ルームコントローラー(※3)	温度	XX℃	
○ ●	電動窓シャッター(ワイヤレス通信機)	—	—	
○ ●	電動窓シャッター(機器)(※3)	開閉状態	開/閉	
○ ●	太陽光発電システム	—	—	
○ ●	スマートメーター	—	—	

※1：状態取得値に反映されるまでに約3分かかります。

※2：状態取得値に反映されるまでに約105秒かかります。

※3：各リモコンは位置確認には表示されません。各リモコンの位置確認は、「簡易間取り設定」の機器割付け設定画面で行ってください。(→58～60ページ)

おしらせ

- エネルギー計測ユニットの位置確認は、「エネルギー計測機器の設定」の設定画面から行います。
エネルギー計測ユニットの接続有無はCT(電流センサー)が接続している機器を操作し、瞬時値の変化を確認してください。(CT接続の確認方法 →48ページ)
- 新設でも機器の位置確認が必要なときは、同様の操作で確認してください。

ログイン情報の初期化

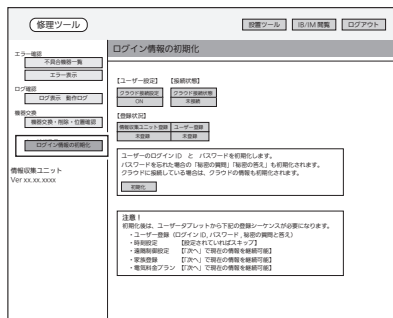
ログイン情報を初期化します。

- 設置時のログイン情報を初期化して、お客様にお渡しするための機能です。

1 「ログイン情報の初期化」をタップする

「ログイン情報の初期化」画面が表示されます。

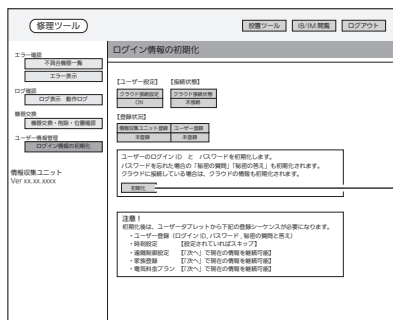
- ログイン情報が初期化されるので、お客様のタブレット端末でユーザー登録を含む初期設定を行う必要があります。



ログイン情報の初期化画面

項目	説明
クラウド接続設定	ON：クラウド接続設定が「ON」の状態 OFF：クラウド接続設定が「OFF」の状態
クラウド接続状態	接続中：情報収集ユニットがクラウドと通信している状態 未接続：情報収集ユニットがクラウドと通信していない状態
情報収集ユニット登録	登録済み：情報収集ユニットの機器IDがクラウドに登録されている状態 未登録：情報収集ユニットの機器IDがクラウドに登録されていない状態
ユーザー登録	登録済み：ユーザー情報がクラウドに登録されている状態 未登録：ユーザー情報がクラウドに登録されていない状態

2 「初期化」をタップする



初期化

3 「OK」をタップする

ログイン情報が初期化されます。

- 設定が必要な項目で初期化されるのは、ユーザー登録の情報(ログインID、パスワード、秘密の質問と答え)のみです。
- 残りの項目は初回の初期設定時に設定していれば、「次へ」をタップして入力をスキップできます。

Memo

概要

準備

設置／
接続

ログイン

コントローラ
設定

機器
設定

詳細
設定

引渡
確認

対処

付録

修理
ツール

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地

872C650D10